

診療所の診療科特性について（その1） — 診療所数、医師数、診療行為 —

日本医師会総合政策研究機構 前田由美子、清水麻生

- ◆ 医師をはじめとする医療資源の診療科偏在は、喫緊の課題とされつつ、現実には、分析に耐えうる診療科別のデータが整備されていない。本稿では、既存統計調査の問題点を示した上で、外来医療の議論の参考に資するよう、診療所に焦点を当ててさまざまな診療科別データを概観する。
- ◆ 一般に「診療所数」と言ったときには、「医療施設調査」の施設数が使用されるが、保険診療を行なわない施設を含むので、注意が必要である。また、診療科は基本的に患者数の多い診療科が選択されており、必ずしも医師の専門性とは一致しない。
- ◆ 医師数は、一般に主たる診療科の医師数が使用される。しかし、例えば内科の医師で小児科も診察できる医師は少なくない。政府統計の集計表では、このような詳細は示されておらず、地域の現場での情報が重要である。
- ◆ 地域偏在としては、精神科施設および医師は都市圏集中、皮膚科は東京都一極集中という特徴がある。皮膚科医師は女性の選択が多く、女性医師の増加に伴って皮膚科の医師数が増加している。
- ◆ 診療行為別（医療費ベース）では、2020年に新型コロナウイルス感染症による受診控えの影響で初・再診が激減しており、診療行為の構成が大幅に変化した。診療行為の構造的変化が一時的なものなのか、今後注視したい。

「診療所の診療科特性（その2）」は、診療科別の医療費（点数）、件数、日数の分析であり、2021年10月初旬の公表を予定している。

目次

はじめに	1
1. 各種調査について	3
1.1. 概要	3
1.2. 診療科区分と選択	5
2. 施設数	7
2.1. 診療所数	7
2.2. 診療科別診療所数（全国）	9
2.3. 診療科別診療所数（都道府県別）	11
3. 医師数	13
3.1. 病院・診療所別医師数	13
3.2. 診療科選択	15
3.3. 診療科別医師数（全国）	17
3.4. 診療科別・性別医師数（全国）	19
3.5. 診療科別人口10万対医師数（都道府県別）	20
3.6. 診療科別・年齢階級別医師数（全国）	25
3.7. 診療科別・勤務先別医師数（全国）	27
4. 診療科別診療行為別	28
4.1. 入院外医療費	28
4.1.1. 診療行為別構成比	28
4.1.2. 初・再診	31
4.1.3. 在宅医療	32
4.1.4. 人工透析	35
4.2. 入院医療費	37
おわりに	39
5. データ集	41
5.1. 診療所数	41
5.1.1. 診療科別診療所数	41
5.1.2. 単科・複数科別診療所数	42
5.2. 診療所医師数	43

5.2.1.	診療科別医師数（主たる・従たる診療科）	43
5.2.2.	診療科別・性別医師数	44
5.2.3.	診療科別・性別医師数構成比	45
5.2.4.	診療科別・都道府県別人口10万対医師数	46
5.2.5.	診療科別・開設者勤務者別医師数	49
5.3.	診療所診療行為別点数	50
5.3.1.	診療科別入院外診療行為別診療報酬点数構成比	50
5.3.2.	診療科別入院診療行為別診療報酬点数	56

はじめに

2018年、医療法の一部改正によって¹、地域における外来医療機能の不足・偏在等へ対応する目的で²、都道府県医療計画に外来医療計画が位置付けられた。2019年3月、厚生労働省は「外来医療に係る医療提供体制の確保に関するガイドライン」（以下、「外来医療ガイドライン」）を発表するとともに、外来医師偏在指標³を都道府県に提供し、各都道府県は2020年3月末までに外来医療計画の策定を終了した⁴。現在は具体的な取り組みを進めている。

「外来医療計画」では、外来医師多数地域の新規開業希望者に対し、不足する外来医療機能を担うことを求めるなどの対応をとるが、医師が多数か少数かは医師の診療科別ではなく医師の総数によって判断される。

「外来医療ガイドライン」にも明記されているとおり、診療科別医師数の偏在解消は今後の継続課題である。その理由のひとつとして、分析に耐えうるデータが整備されていないことがあげられる。いくつかの公的統計はあるものの診療科の分類からして統一されていない。

本稿では、既存統計調査の問題点を示した上で、外来医療の議論の参考に資するよう、さまざまな診療科別データを概観する。

¹ 「医療法及び医師法の一部を改正する法律」（2018年法律第79号）2018年7月25日施行

² 「医療従事者の需給に関する検討会 医師需給分科会第2次中間取りまとめ」2017年12月21日 医療従事者の需給に関する検討会医師需給分科会

<https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-10801000-Iseikyoku-Soumuka/0000188997.pdf>

³ ①医療需要（ニーズ）及び人口構成とその変化、②患者の流出入等、③へき地等の地理的条件、④医師の性別・年齢分布、⑤医師偏在の種別（区域、入院／外来）を勘案した人口10万人対診療所医師数を用いて算定。

外来医師偏在指標の上位33.3%が「医師多数区域」、下位33.3%が「医師少数区域」。

「医療従事者の需給に関する検討会 医師需給分科会第4次中間取りまとめ」2019年3月22日 医療従事者の需給に関する検討会医師需給分科会

<https://www.mhlw.go.jp/content/10801000/000496147.pdf>

⁴ 次の外来医療計画は2023年度に策定。

「外来医療に係る医療提供体制の確保に関するガイドライン」(抜粋)

2019年3月 <https://www.mhlw.go.jp/content/000550063.pdf>

- 外来医療計画においては、まず、厚生労働省が示す外来医師偏在指標の計算式に基づき、都道府県において二次医療圏単位で外来医師偏在指標を定め、この外来医師偏在指標に基づき二次医療圏ごとに外来医師多数区域を定義する。
- 都道府県は、外来医師多数区域において新規開業を希望する者に対しては、当該外来医師多数区域において不足する医療機能を担うよう求め、新規開業を希望する者が求めに応じない場合には協議の場への出席を求めるとともに、協議結果等を住民等に対して公表することとする。外来医師偏在指標の値及び協議の場における協議プロセス、公表の方法等については、外来医療計画に盛り込み、あらかじめ公表しておくこととする。
- また、二次医療圏単位における外来医療機能について、全ての区域においてどのような機能が不足しているのか可能な限り分析を行い、その分析結果についても外来医療計画において明示する。
- 外来医療機能の偏在の項目の1つとして、診療科別の医師の偏在の課題がある。この課題については、現在、厚生労働省において診療行為と診療科の分類に関する研究等が行われているところであり、今後の議論の経過についても留意されたい。なお、これらの取り組みを待たずに地域で必要な診療科等について議論することを妨げるものではないが、新規開業への誘発需要が生じることで結果として地域に必要な医療全体の提供体制に支障が生じることはないよう、協議の場等における十分な議論を行った上で、外来医療計画に盛り込むこと。

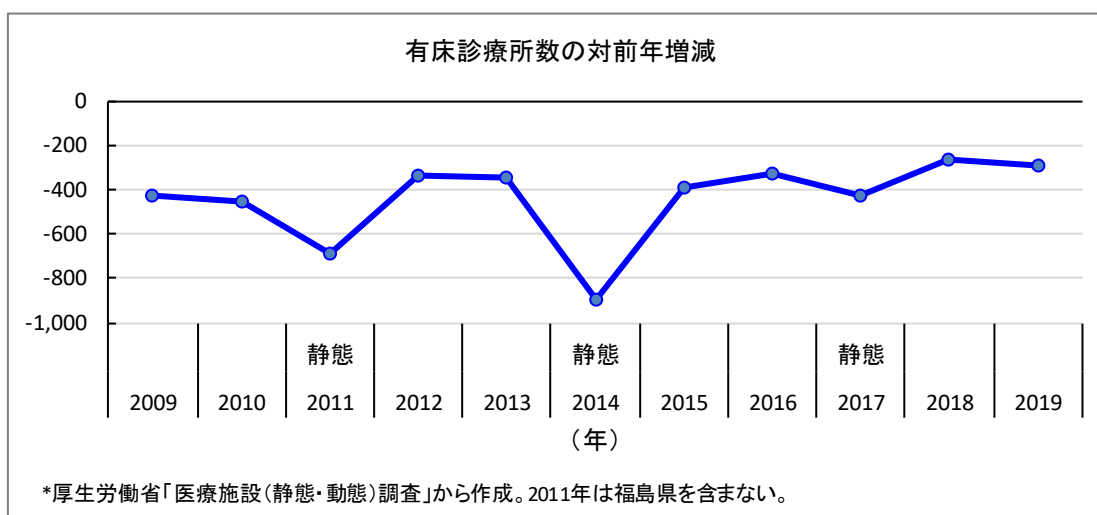
1. 各種調査について

1.1. 概要

「医療施設（静態・動態）調査」

一般に診療所数といったときには、「医療施設（静態・動態）調査」のデータが用いられるが、保険診療を行わない施設を含む。動態調査は、都道府県または保健所設置市区が医療機関からの届出に基づいて毎月集計される。しかし、特に廃止の場合には届出が失念されることがあり、3年に一度の静態調査の調査票が届いたときに気づく。このため、有床診療所で例示すると、3年に一度、大幅に施設数が減少するといったことがある（図 1.1.1）。

図 1.1.1 有床診療所数の対前年増減



「概算医療費データベース」

医療費を含めて比較的早い段階で全国実績を把握できる。保険診療を行なう施設のみが対象である。しかし、施設数が有床・無床別に区別されていないため、入院1施設当たりに関する指標は分析できない。

「社会医療診療行為別統計」

診療報酬項目ごとの点数、件数、回数を把握できるが毎年6月審査分が対象であるため、年によってばらつきを生じることがあり、本来は経年変化の把握には適さない。また紙レセプトは対象外であり、同統計で算定なしの診

療報酬であっても、紙レセプトの医療機関で算定されているケースがある。

表 1.1.1 各種調査の概要

<p>厚生労働省「医療施設（静態・動態）調査」 https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/79-1b.html#7</p> <ul style="list-style-type: none">・ 静態調査は 3 年毎で、医療施設の管理者が自ら調査票に記入する方式。・ 動態調査は、開設・廃止等の申請・届出に基づいて、都道府県または保健所設置市区が調査票を記入する方式で、毎月集計される。開設申請は開設と同時に行われるが、廃止の場合は即時に届出されないケースがある。実態は 3 年毎の静態調査で把握される。・ 一般に「医療施設調査」で「診療所」といった場合には、保険診療を行わない施設（※）を含む。※自由診療のみの診療所、特別養護老人ホームの医務室、市町村の巡回健診、日赤の採血ルーム等
<p>厚生労働省「概算医療費データベース」毎月 https://www.mhlw.go.jp/bunya/iryuhoken/iryuhoken03/01.html</p> <ul style="list-style-type: none">・ 審査支払機関が審査する医療保険および公費負担医療費で、支給の対象となる患者負担分を含めた医療費等の集計。診療所施設数の有床・無床の区分がない。診療科では、泌尿器科、精神科の区分がない。
<p>厚生労働省「社会医療診療行為別統計」（2014 年まで「社会医療診療行為別調査」） 毎年 6 月審査分 https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/26-19a.html#link03</p> <ul style="list-style-type: none">・ 審査支払機関に提出された診療報酬明細書および調剤報酬明細書が対象。・ 2011 年以降は医科病院および保険薬局について、2013 年以降は医科診療所について、NDB に蓄積された電子レセプトを活用⁵。それまでは抽出調査であり、大きなばらつきが生じたことがある。・ 毎月 6 月単月が対象であるため、年によってばらつきが生じることがある。・ 紙レセプトは対象外。医科診療所の紙レセプトは 2021 年 5 月時点において医療機関ベースで 4.0%、請求件数ベースで 1.5%⁶。

⁵ 「社会医療診療行為別調査の概要」厚生労働省大臣官房統計情報部人口動態・保健社会統計課社会統計室 2014 年 12 月 5 日 規制改革会議 第 27 回健康・医療ワーキング・グループ資料
<https://www8.cao.go.jp/kisei-kaikaku/kaigi/meeting/2013/wg3/kenko/141205/item1-3.pdf>

⁶ 社会保険診療報酬支払基金「請求状況（医療機関数・薬局数ベース）【令和 3 年 5 月診療分】」
https://www.ssk.or.jp/tokeijoho/tokeijoho_rezept/tokeijoho_rezept_r03.html

1.2. 診療科区分と選択

「医師・歯科医師・薬剤師統計（調査）」

従事する診療科を選択する。複数選択が可能であり、複数ある場合には、その中から主たる診療科を1つ選択する。

「医療施設静態調査」

標榜診療科を選択する。複数の診療科を標榜している場合には、① 科目別患者数の多いもの、② 院長または常勤医師の主たる専門科目、③ 院長が主たる専門科目として判断するもの、の順で、主たる診療科を1つ選択する。需要にあわせた診療科が選択されることが多く、医師の専門性とは必ずしも一致しない。

「概算医療費データベース」

施設数が一定以上ある精神科、泌尿器科、脳神経外科を独立させていない。

「社会医療診療行為別統計」

診療科別施設数が開示されていない。せっかく診療報酬別のデータがあるものの、ある診療科のある診療報酬の算定が増えていたとしても、その診療科の施設数が増えたからかどうかわからない。

透析医療機関は保険（診療報酬）収入が他科とは異なる構造であり、別掲とすべき診療科である。「医療施設静態調査」では、人工透析手術を行っている診療所が2,089施設あるのに対し、主に「糖尿病内科（代謝内科）」を標榜する施設数は531施設であるので⁷、人工透析を行っている診療所は、内科、糖尿病内科（代謝内科）、泌尿器科等に分散して報告されているのではないかと推察される。

⁷ 厚生労働省「平成29年(2017)医療施設（静態・動態）調査・病院報告の概況」
<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/iryosd/17/>
人工透析手術施設数は「3 診療等の状況」参照。

表 1.2.1 診療所 各種調査別診療科別の医師数・施設数

	診療所医師数		診療所数		
	① 医師・歯科医師・薬剤師統計	② 医療施設 静態調査	③ 概算医療費 データベース	④ 社会医療診療行為別統計	
	医師数(人)	施設数	施設数	施設数	
	2018年	2017年	2021年2月	2020年6月	
	全施設		保険請求あり	電子レセプトのみ	
総数	103,836	101,471	85,585	81,243	
内科系	内科	38,883	49,961	40,275	
	呼吸器内科	657	402		
	循環器内科	2,112	1,595		
	消化器内科(胃腸内科)	3,549	2,517		
	腎臓内科	992	522		
	神経内科	531	356		
	糖尿病内科(代謝内科)	943	531		
	血液内科	20	14		
皮膚科	5,557	4,758	4,461	(診療科別施設数の公開なし)	
アレルギー科	71	183	-		
リウマチ科	187	237	-		
感染症内科	11	19	-		
小児科	6,707	5,426	5,029		
精神科	4,039	3,439	-		
心療内科	640	747	-		
外科系	外科	2,862	2,388		3,265
	呼吸器外科	17	4		
	心臓血管外科	111	73		
	乳腺外科	368	198		
	気管食道外科	-	17		
	消化器外科(胃腸外科)	228	170		
泌尿器科	1,991	1,712	-		
肛門外科	257	222	-		
脳神経外科	1,167	1,023	-		
整形外科	7,903	7,317	7,243		
形成外科	569	440	-		
美容外科	664	616	-		
眼科	8,442	7,211	6,983		
耳鼻咽喉科	5,351	4,956	4,998		
小児外科	28	27	-		
産婦人科	4,072	2,651	3,297		
産科	109	171			
婦人科	1,097	665			
リハビリテーション科	153	125	-		
放射線科	456	158	-		
麻酔科	538	391	-		
病理診断科	50	20	-		
臨床検査科	8	13	-		
救急科	29	14	-		
臨床研修医	13	-	-		
全科	88	-	-		
その他	1,045	-	10,034		
歯科	-	182	-		

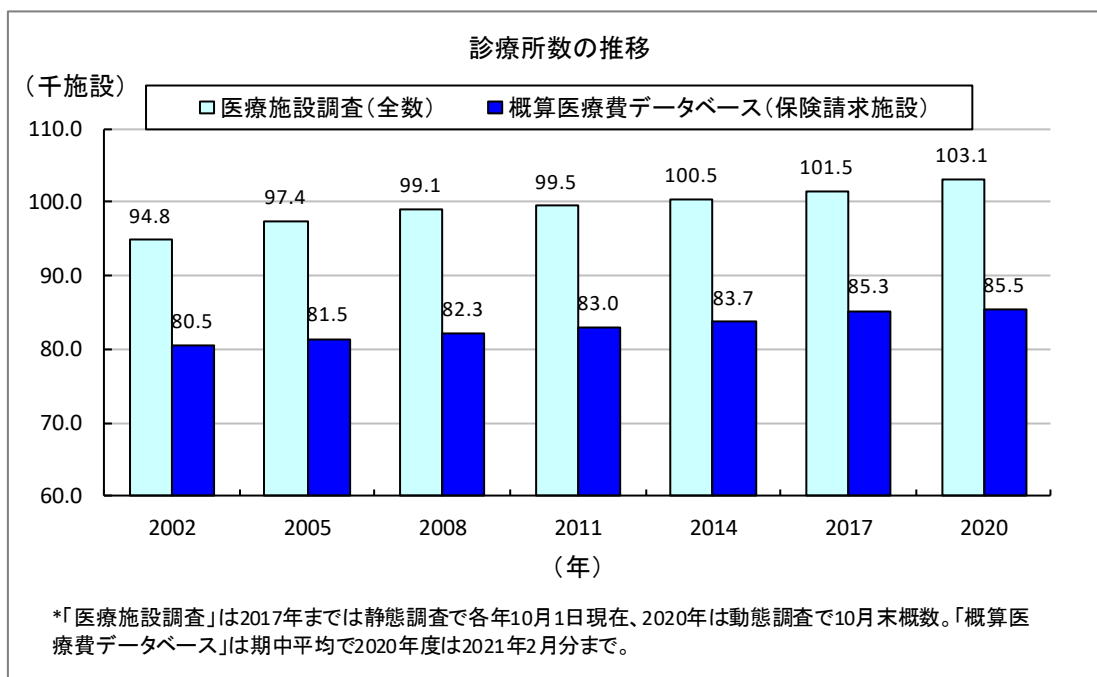
① 総数には診療科不詳を含む。 ② 保険診療を行っていない診療所を含む。 歯科には矯正歯科、小児歯科、歯科口腔外科を含む。 ③ 審査支払機関へ診療報酬の審査支払請求を行った医療機関。 ④ NDBIに蓄積されたレセプトが対象であり、紙レセプトの医療機関を含まない。

2. 施設数

2.1. 診療所数

診療所施設数は長期的に増加傾向にあったが、その伸びが緩やかになっており、「概算医療費データベース」の保険請求施設数はほぼ頭打ちになっている（図 2.1.1）。

図 2.1.1 診療所数の推移



有床診療所は1996年（25年前）には2万施設を超えていたが、最近は6千施設台である（図 2.1.2）。

有床診療所は2014年から2017年にかけて1,153施設減少したが、うち無床化分が924施設（80.1%）である（表 2.1.1）。

図 2.1.2 有床・無床別診療所数の推移

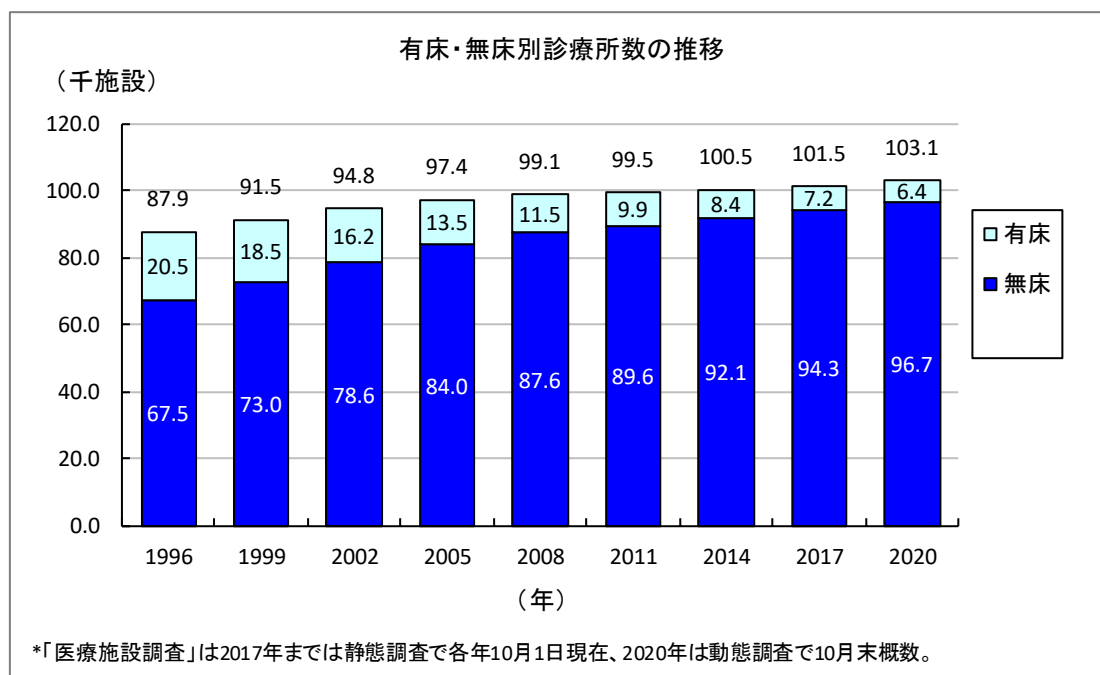


表 2.1.1 2014年から2017年にかけての診療所数の変化

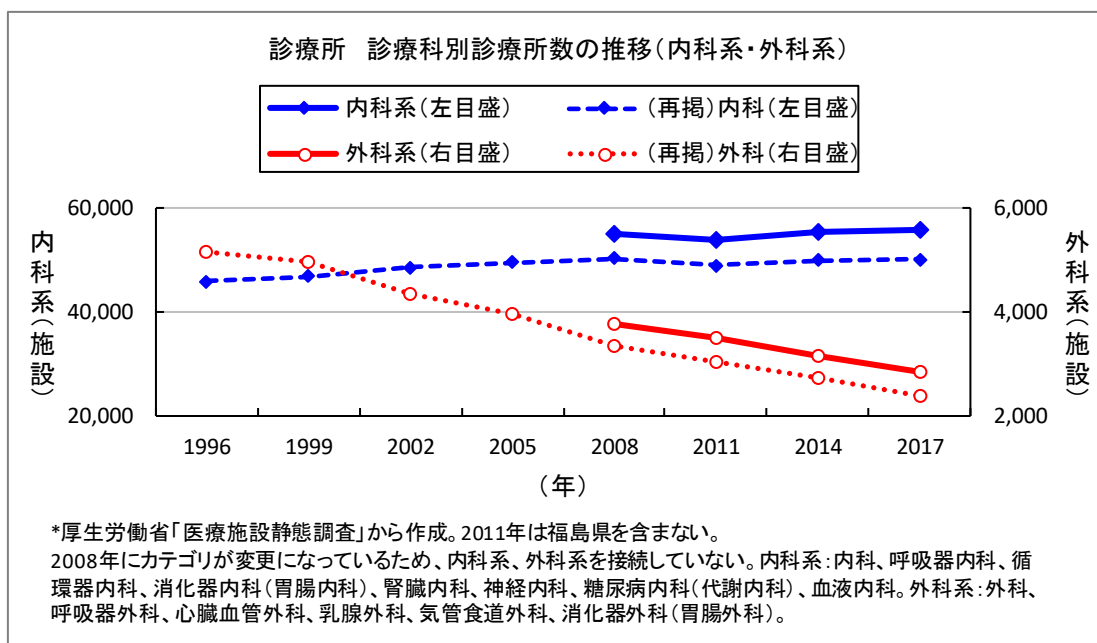
	(施設数)					
	開設	廃止	休止	再開	病床有無の変更	計
有床診療所	200	▲ 335	▲ 169	75	▲ 924	▲ 1,153
無床診療所	22,033	▲ 19,664	▲ 1,923	793	924	2,163

*厚生労働省「医療施設動態調査」から作成

2.2. 診療科別診療所数（全国）

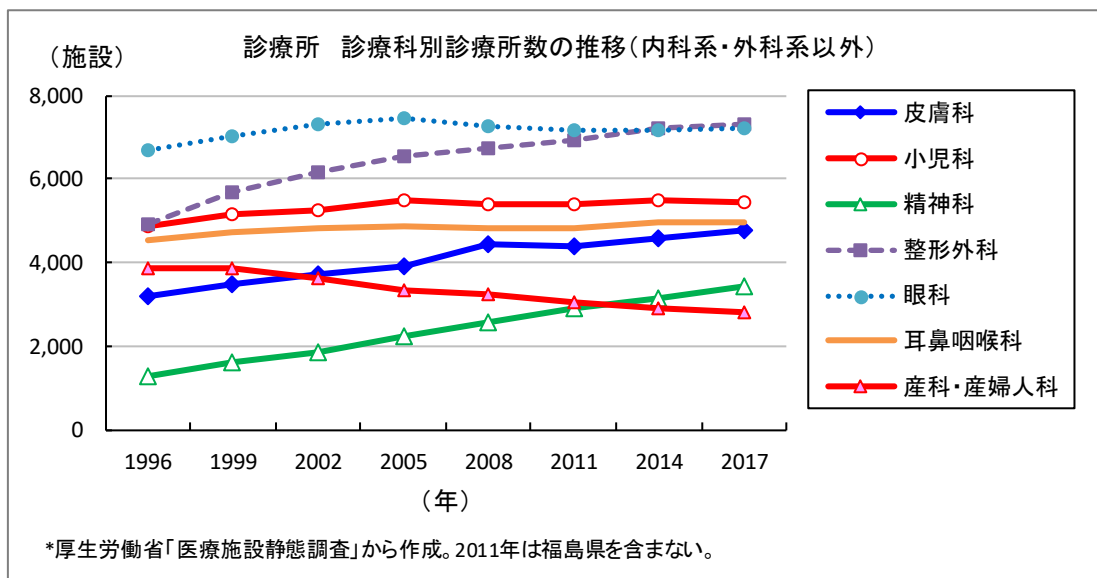
内科は増加傾向にあったが、2008年以降はほぼ横ばいである。外科は一貫して減少傾向にある（図 2.2.1）。

図 2.2.1 診療所 診療科別診療所数の推移（内科系・外科系）



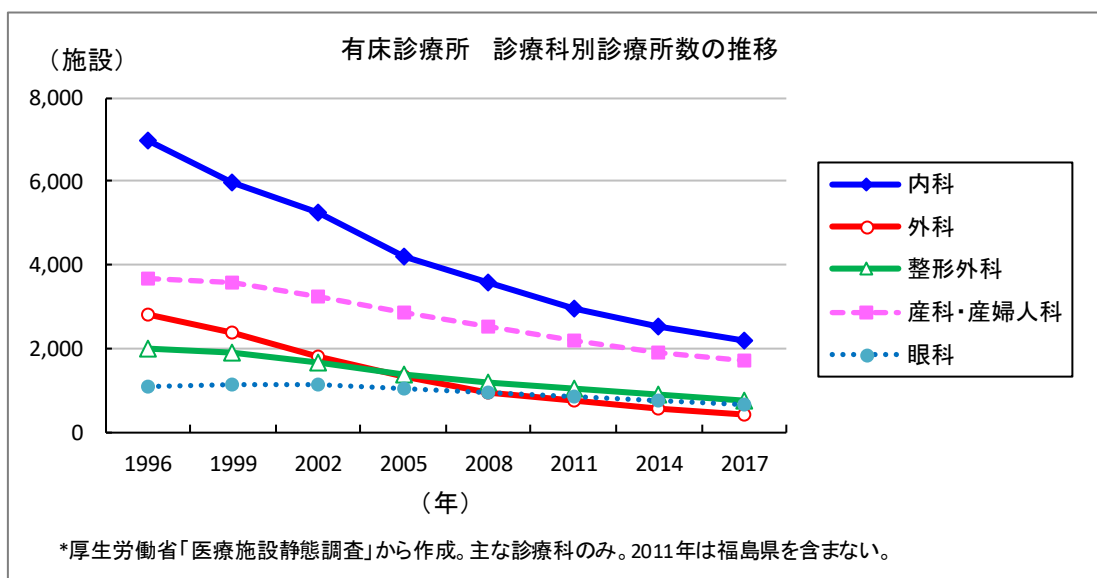
産科・産婦人科が減少傾向、整形外科、皮膚科、精神科が増加傾向にある。小児科は少子化の中で施設数を維持してきたが、2014年から2017年にかけて若干減少している（図 2.2.2）。

図 2.2.2 診療所 診療科別診療所数の推移（内科系・外科系以外）



有床診療所は各科とも大きく減少しているが、内科、外科に比べて産科・産婦人科、眼科の減少率は若干小さい（図 2.2.3）。

図 2.2.3 有床診療所 診療科別診療所数の推移



2.3. 診療科別診療所数（都道府県別）

内科系および小児科では、人口 10 万人対施設数が特に多い県は、医師数自体が多いというよりも、分母である人口の減少が進んでいる県である（図 2.3.1, 図 2.3.2）。

図 2.3.1 診療所 内科系 人口 10 万人対施設数（2017 年）

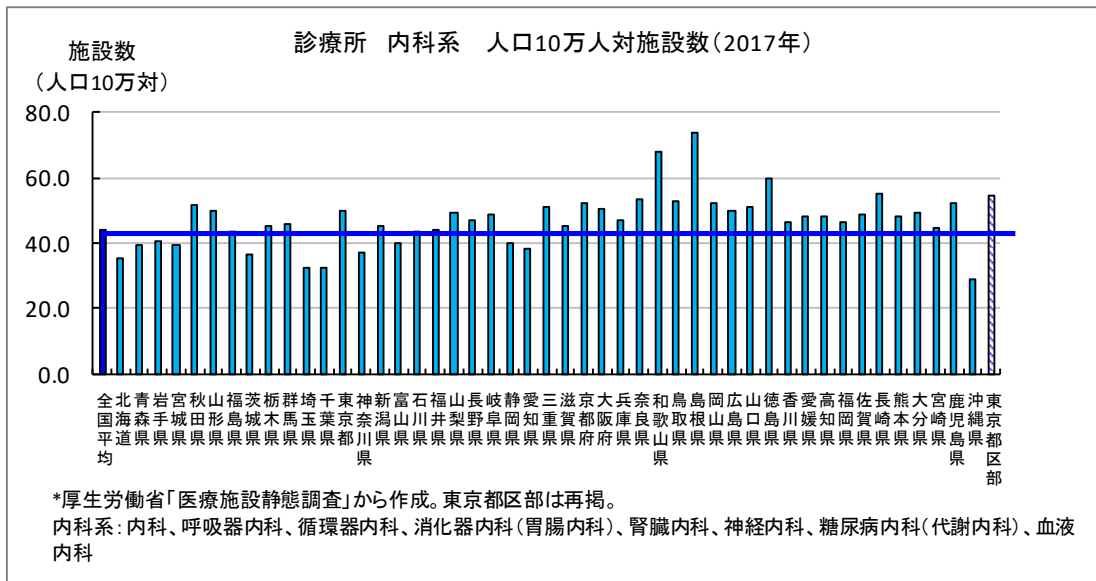
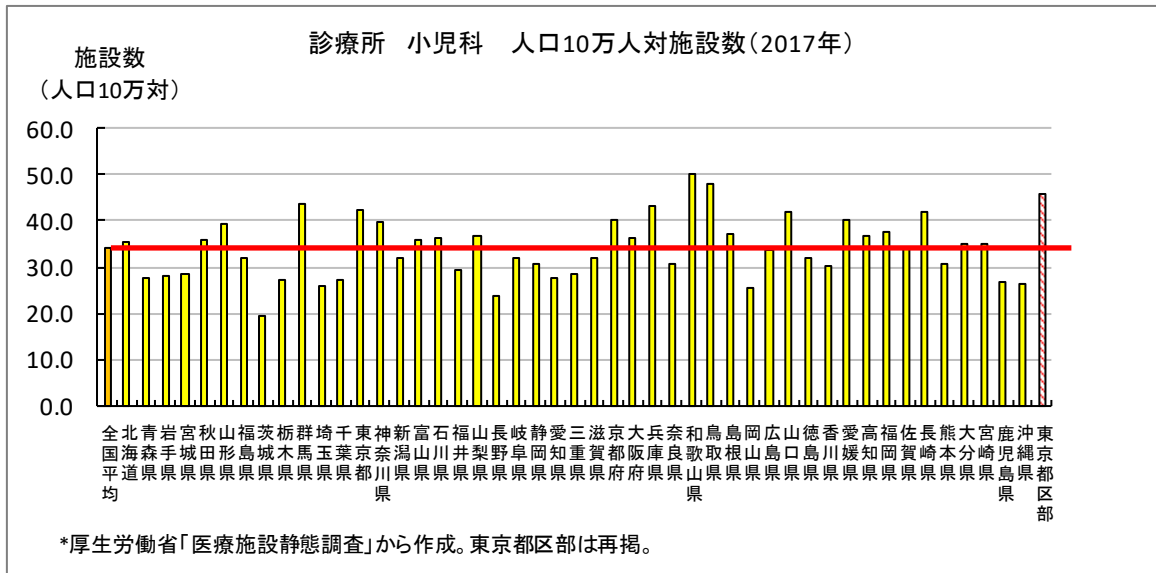


図 2.3.2 診療所 小児科 人口 10 万人対施設数（2017 年）



精神科は都市圏集中型である（図 2.3.3）。

皮膚科は東京都一極集中型であり、自由診療を行なう美容皮膚科の施設数
が多く含まれているのではないかと推察される⁸（図 2.3.4）。

図 2.3.3 診療所 精神科 人口10万人対施設数（2017年）

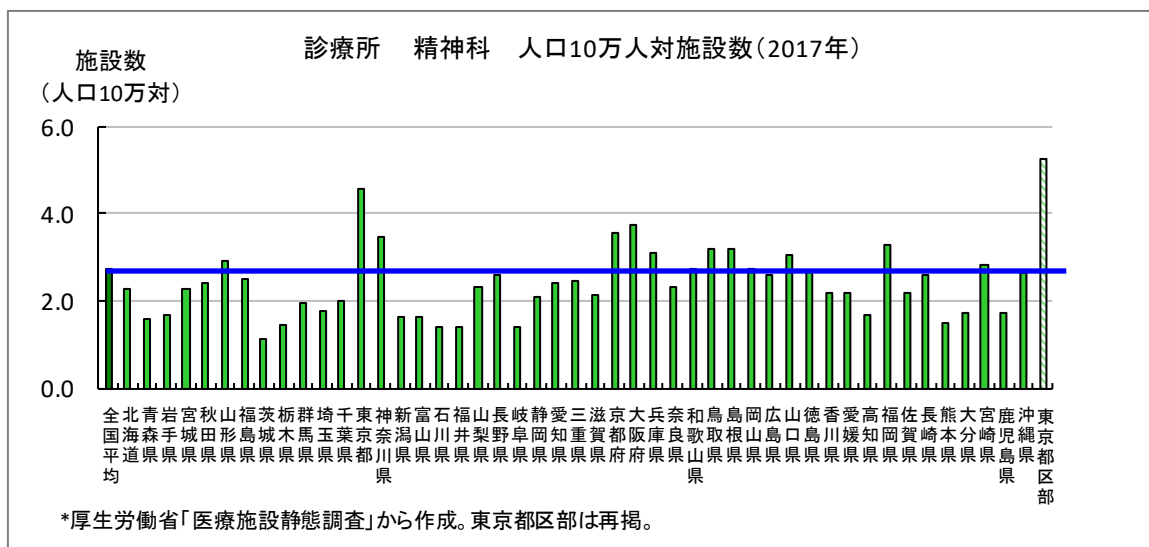
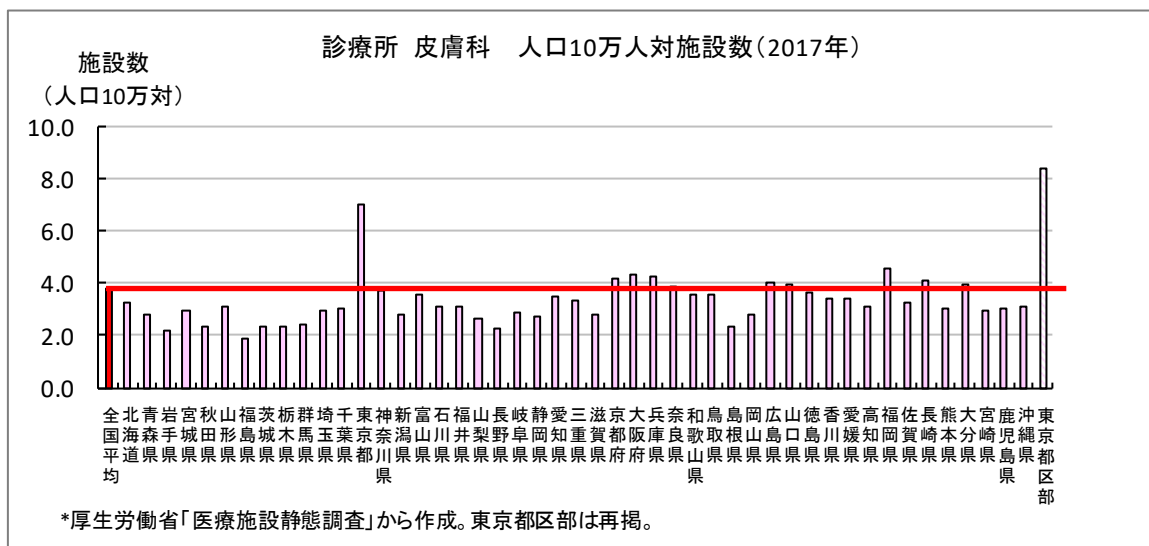


図 2.3.4 診療所 皮膚科 人口10万人対施設数（2017年）



⁸ 「医療施設静態調査」には美容皮膚科というカテゴリがないので美容外科で見ると、全国の主に美容外科を標榜する診療所 616 施設のうち東京都に 184 施設（29.9%）が集中している（2017年）。

3. 医師数

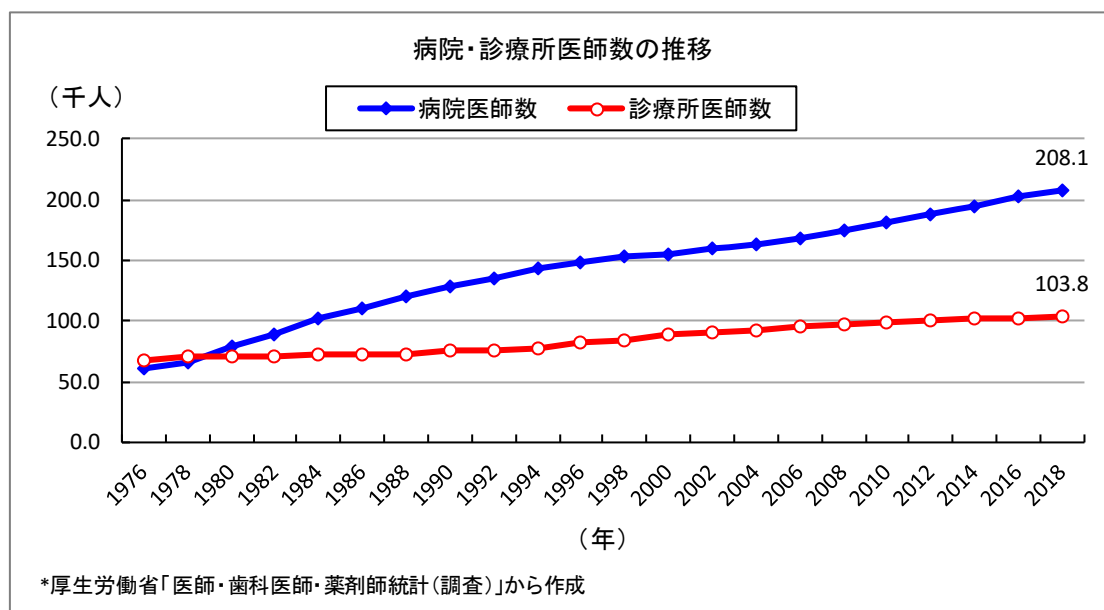
診療所医師数は、主たる勤務先施設として「診療所」を選択した医師数を指す。診療所には、病院医師が非常勤で勤務しているケースもあり、「医師・歯科医師・薬剤師統計」では従たる勤務種別として調査されているが⁹、詳細結果は公表されていない。

3.1. 病院・診療所別医師数

診療所の診療科別医師数を見る前に、病院・診療所別医師数を概観する。

1979年にいわゆる「一県一医大構想」が完成するまで医学部定員数が引き上げられてきたが¹⁰、増加分の医師数はほぼ病院で増加してきた(図 3.1.1)。2018年時点で病院医師は208.1千人、診療所医師は103.8千人である。

図 3.1.1 病院・診療所医師数の推移

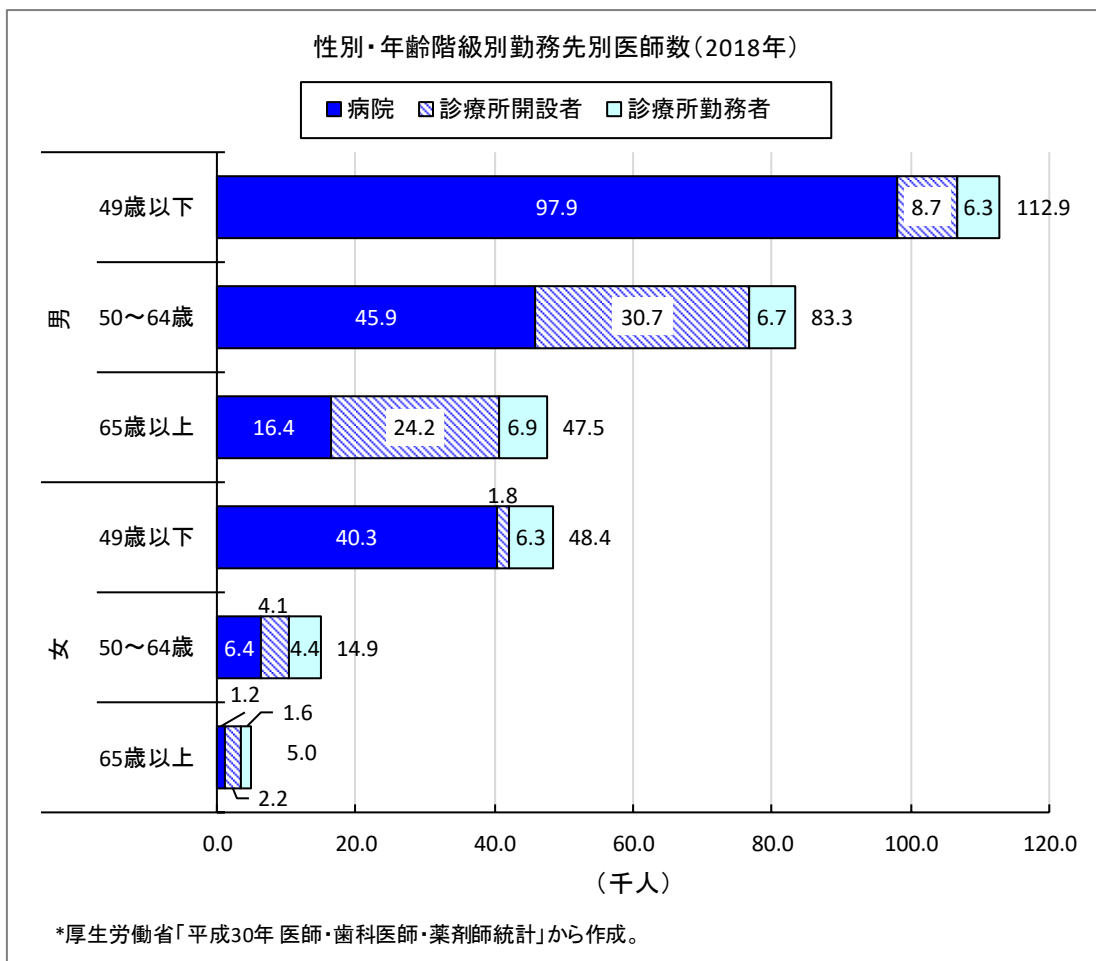


⁹ 病院、診療所、介護老人保健施設など複数の施設に従事している場合は、2番目に長時間従事している施設を選択することになっている。3か所以上の場合には調査されていない。

¹⁰ 1961年に国民皆保険が達成された後、医療機関数の増加、医療技術の高度化などのため医師不足が深刻化した。1970年、厚生省(当時)は、人口10万人対医師数を1985年までに最小限150人確保することを目標とし、1973年の「経済社会基本計画」に、無医大県の解消(いわゆる一県一医大構想)が盛り込まれた。その後、しばらく医師養成数は抑制され、2008年6月の「安心と希望の医療確保ビジョン」(厚生労働省)で従来の閣議決定に代えて、医師養成数を増加させることとされた。

病院・診療所医師のうち、診療所医師数の割合は50～64歳の男性で約4割である（図3.1.2）。女性49歳以下および50～64歳では、診療所開設者よりも診療所勤務者のほうが多いが、男性開設者の共同経営者になっているケースがある。

図 3.1.2 年齢階級別勤務先別医師数（2018年）

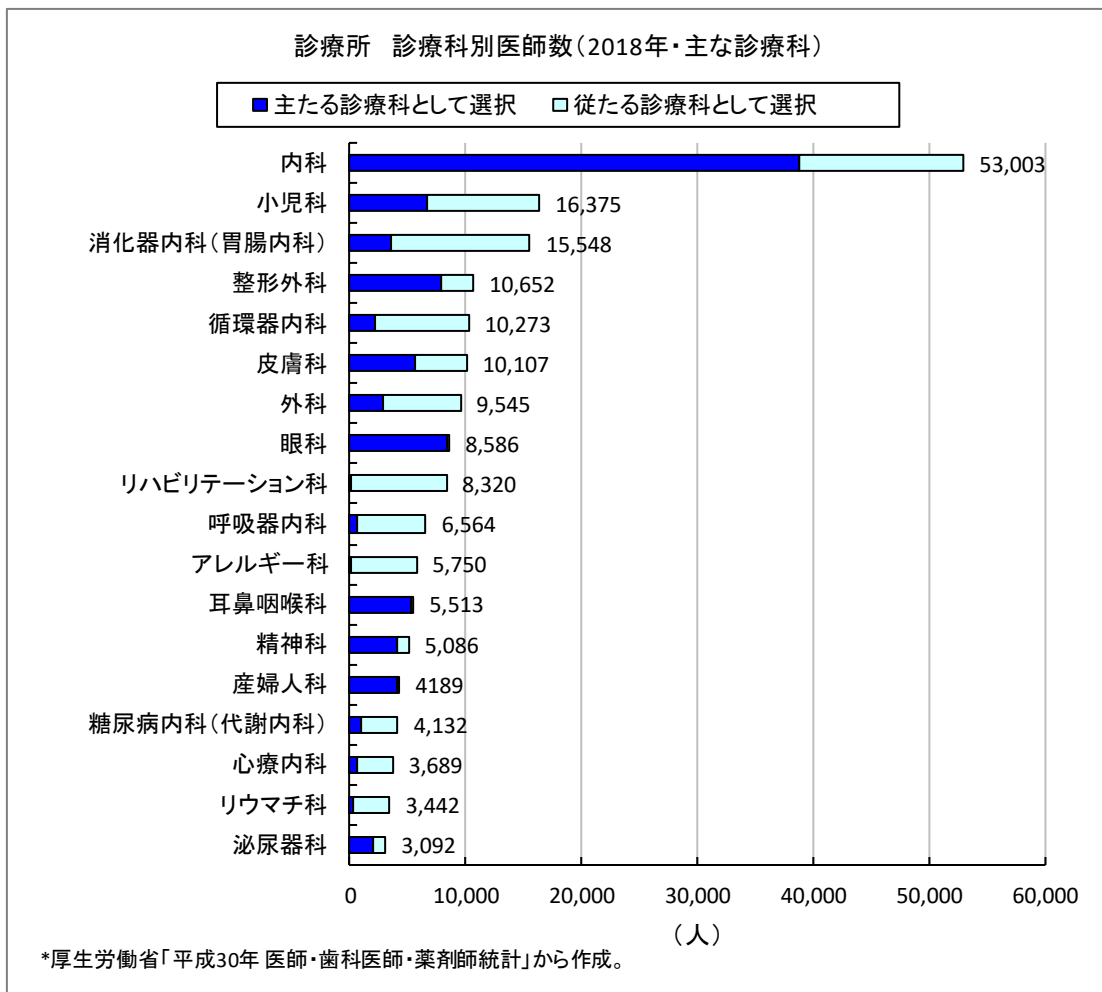


3.2. 診療科選択

診療科別医師数の「診療科」は、主たる診療科として選択された診療科である。主たる診療科は内科であるが、従たる診療科として小児科も対応できるというケースがある(図 3.2.1)。すなわち、統計上は医師不足の診療科であっても、他科の医師がフォローしている地域もある。

一方、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科は専門性が高く、他科の医師から従たる診療科として選択されることが少ない。

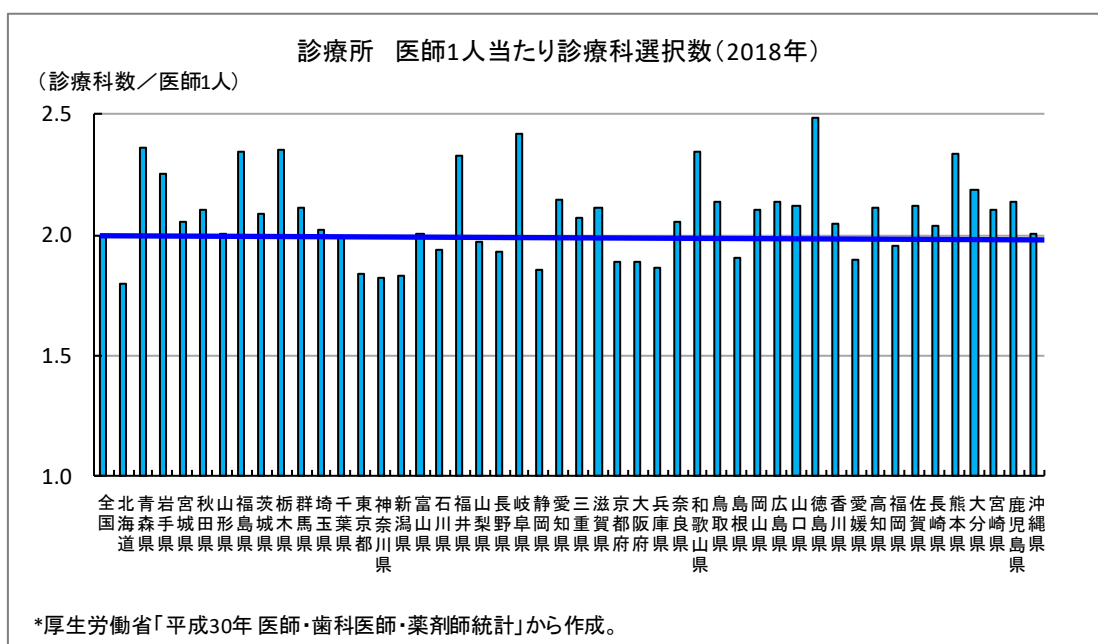
図 3.2.1 診療所 診療科別医師数 (2018年・主な診療科)



診療科選択数の全国平均は2つであるが、徳島県、岐阜県などではそれ以上選択している医師も少なくない（図 3.2.2）。都市部では診療科を複数選択している医師が相対的に少なく、専門分化が進んでいるのではないかと推察される。

筆者コメント：診療科は自己申告による主たる診療科である。医師がどのような外来機能を担っているか具体的な内容を把握できる統計調査は現時点ではない。地域に密着した情報が重要である。

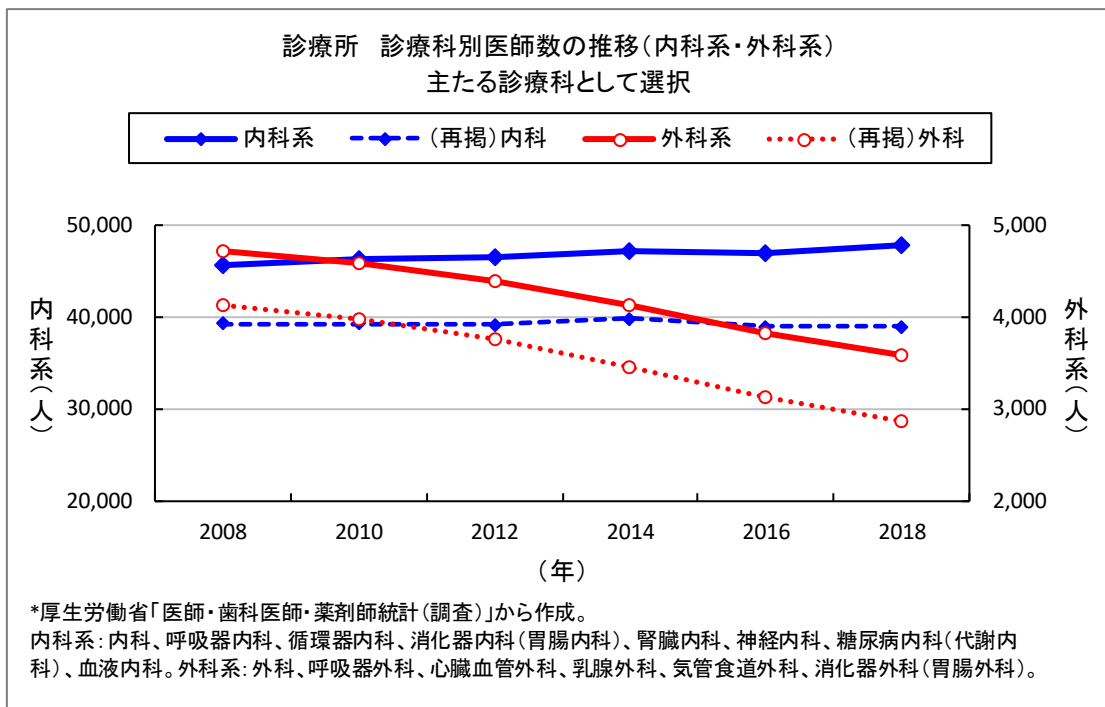
図 3.2.2 診療所 医師1人当たり診療科選択数（2018年）



3.3. 診療科別医師数（全国）

診療科別医師数は、診療科別施設数（前述）とおおむね同様の傾向であり、内科系がほぼ横ばいから微増である。外科系は一貫して減少傾向にあり（図3.3.1）、身近な診療所で手術に対応できる医師が減少している。

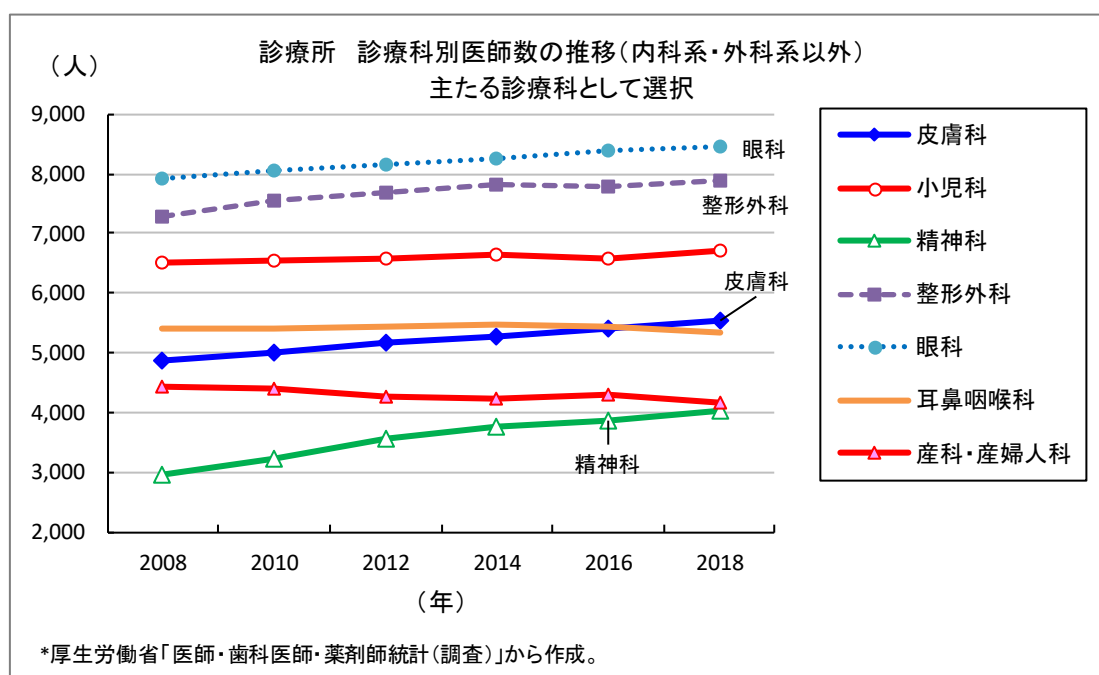
図 3.3.1 診療所 診療科別医師数の推移（内科系・外科系）
主たる診療科として選択



眼科、整形外科、皮膚科、精神科で増加傾向にある（図 3.3.2）。

産科・産婦人科は診療所施設数が明らかな減少傾向を示している（前述）のに比べて、医師数は緩やかな減少であり、1施設当たり医師数の増加、すなわち集約化が進んで大規模化していることがうかがえる。

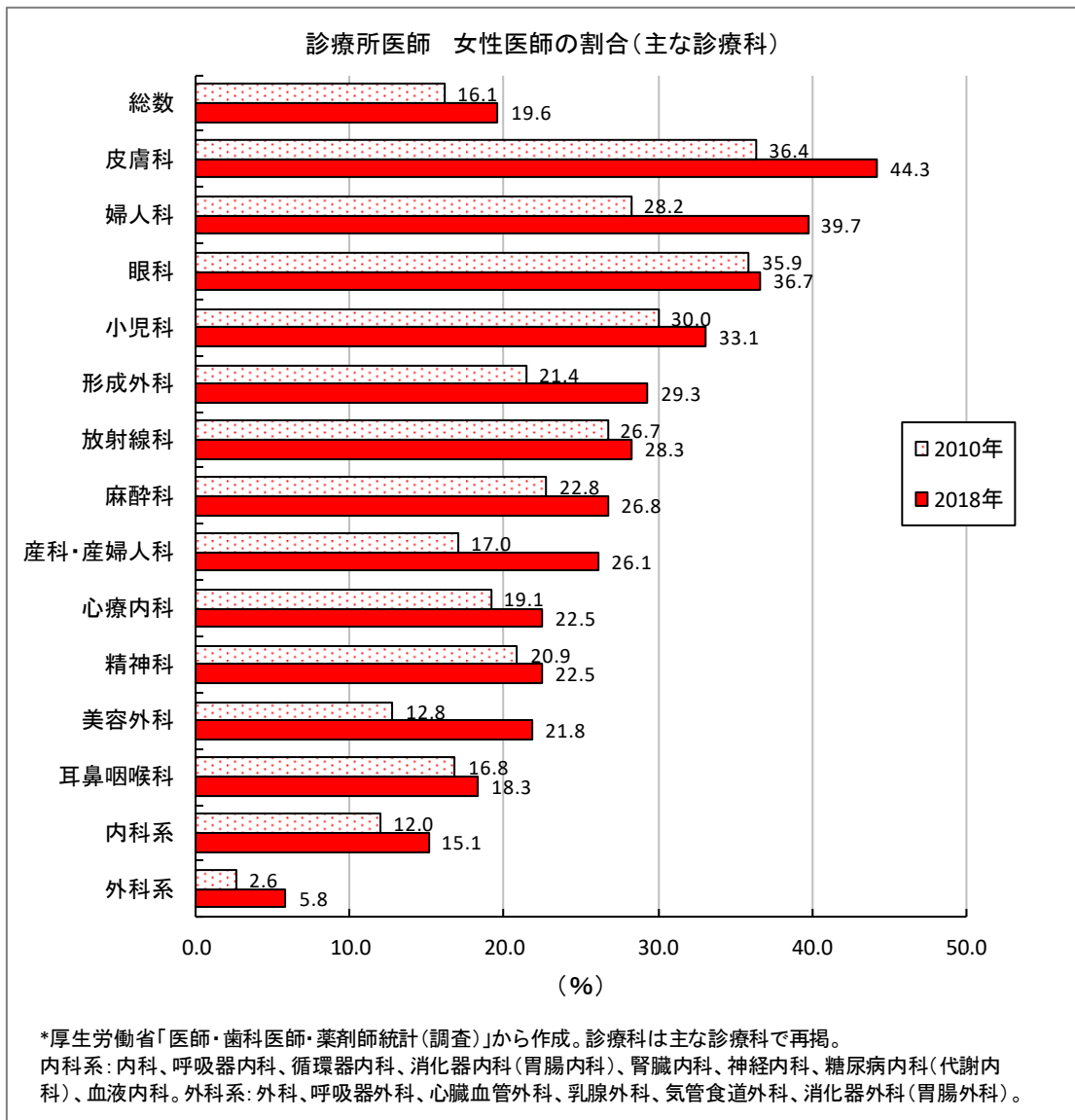
図 3.3.2 診療所 診療科別医師数の推移（内科系・外科系以外）
主たる診療科として選択



3.4. 診療科別・性別医師数（全国）

2010年から2018年にかけての女性医師の割合は、産科・産婦人科で17.0%から26.1%へ9.1ポイント、皮膚科で36.4%から44.3%へ7.9ポイント増加した（図3.4.1）。

図 3.4.1 診療所医師 女性医師の割合（主な診療科）

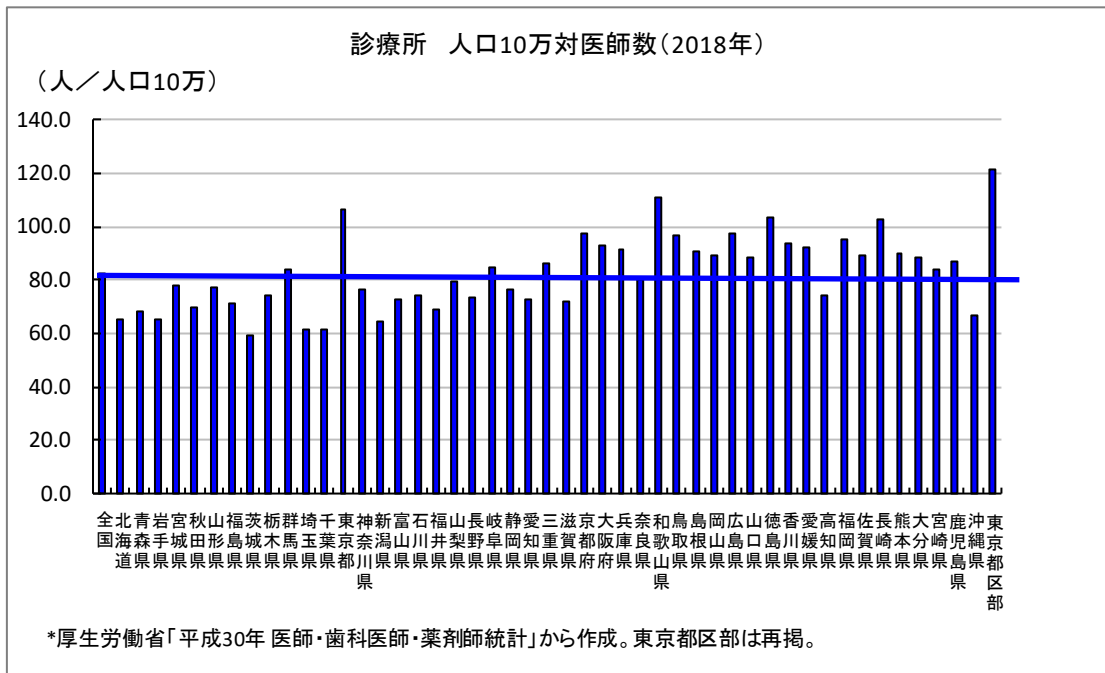


3.5. 診療科別人口 10 万対医師数（都道府県別）

診療所全体について見ておくと、人口 10 万対診療所医師数は、全国的にはおおむね西高東低であり、都道府県別では和歌山県、東京都、徳島県、長崎県が多い（図 3.5.1）。

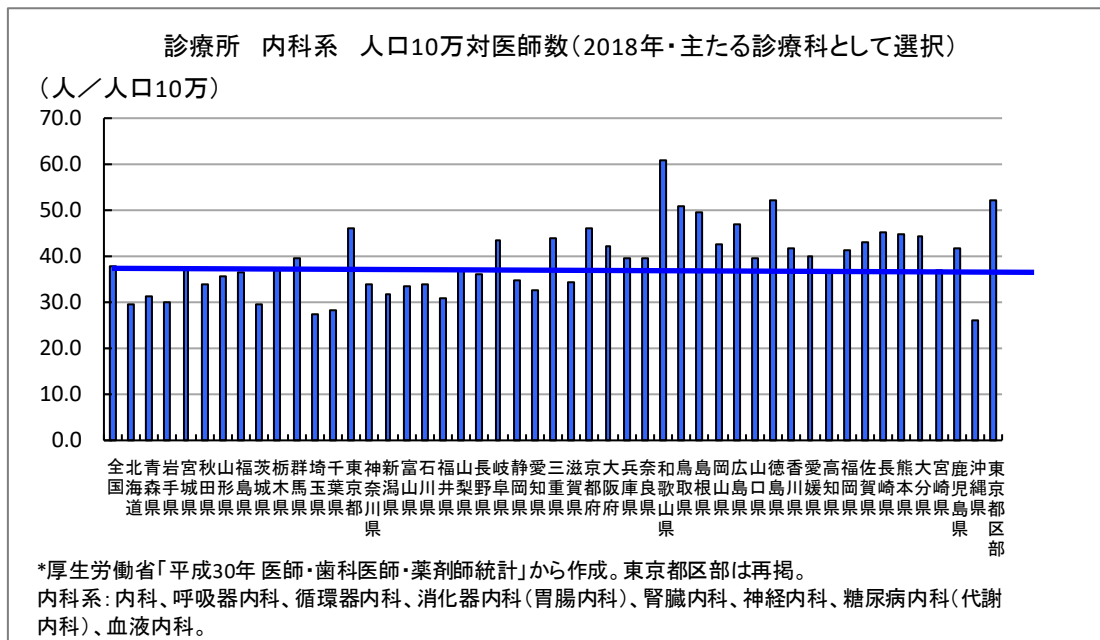
筆者コメント：東京都近郊の県では診療所医師数が少ないが、たとえば東京都外から都内への勤務者が勤務地の近くでかかりつけ医をもつケースがある。すなわち各都道府県の医師数が、当該都道府県の患者需要に直結しているとは限らない。

図 3.5.1 診療所 人口 10 万対医師数（2018 年）



内科系では、和歌山県がもっとも多い（図 3.5.2）。

図 3.5.2 診療所 内科系 人口 10 万対医師数（2018 年・主たる診療科として選択）



小児科は、主たる診療科として小児科を選択した医師のみで見ると、分母である小児人口の減少が進んでいる鳥取県のほか、群馬県、東京都で小児人口 10 万対医師数が多い（図 3.5.3）。従たる診療科として小児科を選択した医師を加えると、徳島県、岐阜県で多い（図 3.5.4）。徳島県、岐阜県は、診療科を複数選択している医師が多い県である（前述）。

図 3.5.3 診療所 小児科 0~14歳人口10万対医師数
(2018年・主たる診療科として選択)

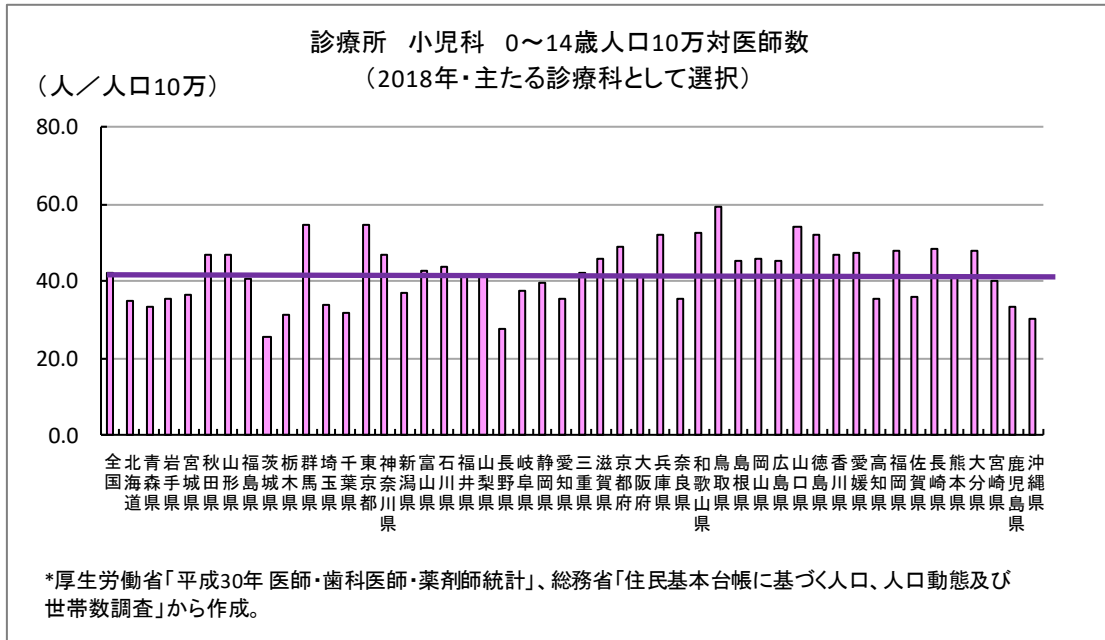
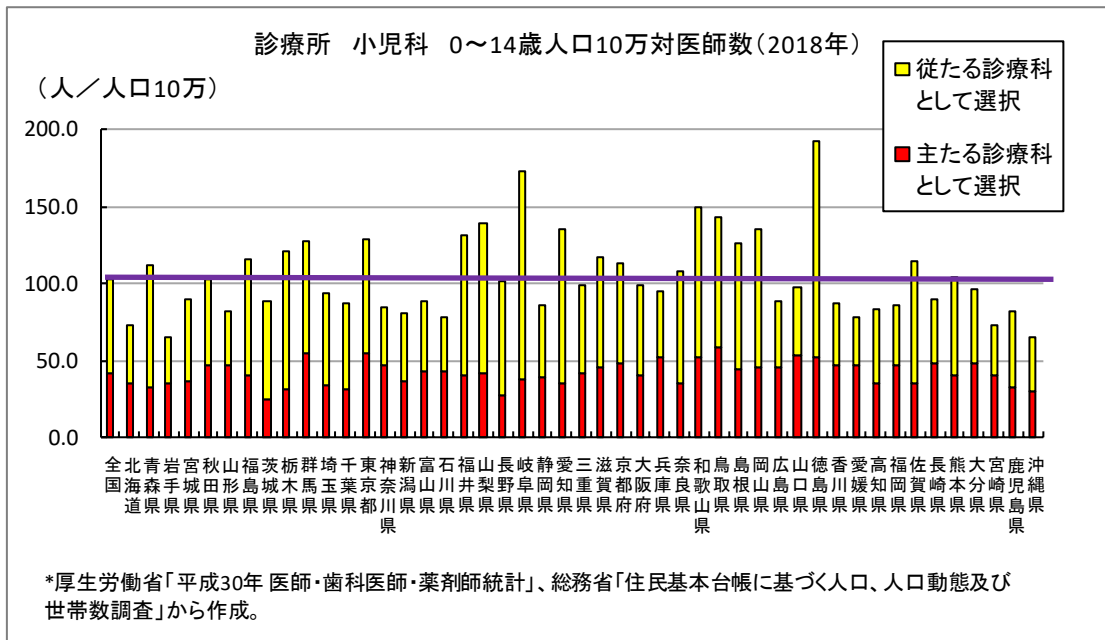


図 3.5.4 診療所 小児科 0~14歳人口10万対医師数 (2018年)



精神科医師は都市圏集中である（図 3.5.5）。

皮膚科は東京一極集中で、美容皮膚科の医師が多いのではないかと推察される（図 3.5.6）。

筆者コメント：近年では、主として医師の地域偏在の解消を目的に 2008 年に本格的な医師養成数の増加に舵が切られたが¹¹、その後、増加分の医師が都市部の特定の診療科に集中しつつある可能性がある。美容医療大手チェーンクリニックには毎年 100 人近くの医師（新卒またはそれに近い医師）が就職する（離職も多い）という情報もある（複数の関係者へのヒアリングより）。

¹¹ 2008 年 6 月の厚生労働省「安心と希望の医療確保ビジョン」で従来の閣議決定に代えて、医師養成数を増加させることとされた。

厚生労働省「安心と希望の医療確保ビジョン」2008 年 6 月 18 日

<http://www.mhlw.go.jp/shingi/2008/06/dl/s0618-8a.pdf>

「現下の医師不足の現状にかんがみ、従来の閣議決定に代えて、医師養成数を増加させる。」

図 3.5.5 診療所 精神科 人口10万対診療所医師数
(2018年・主たる診療科として選択)

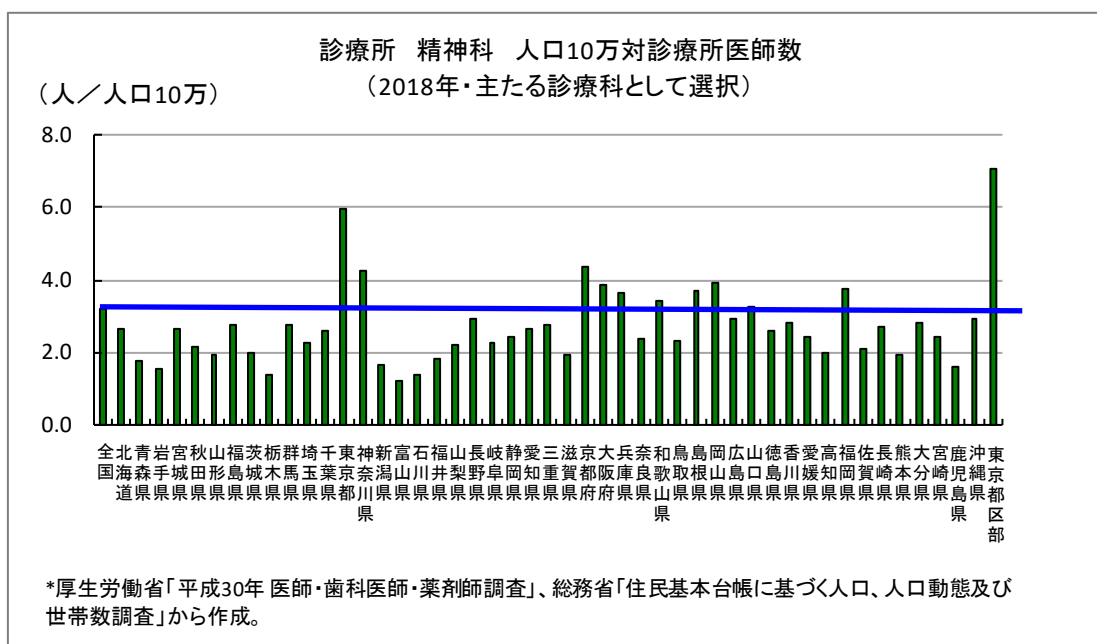
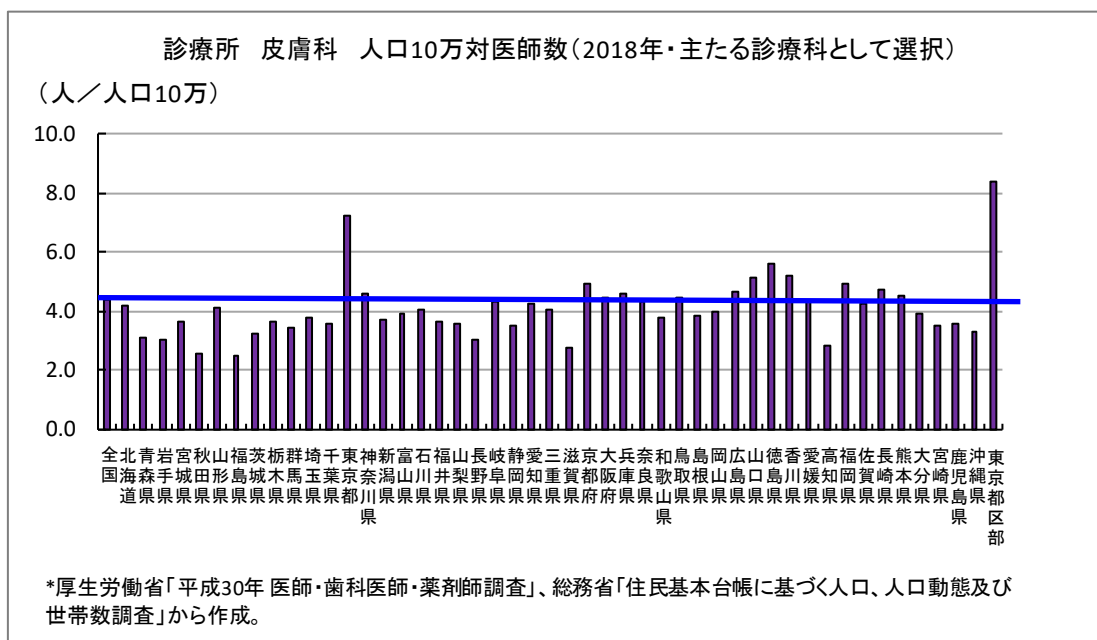


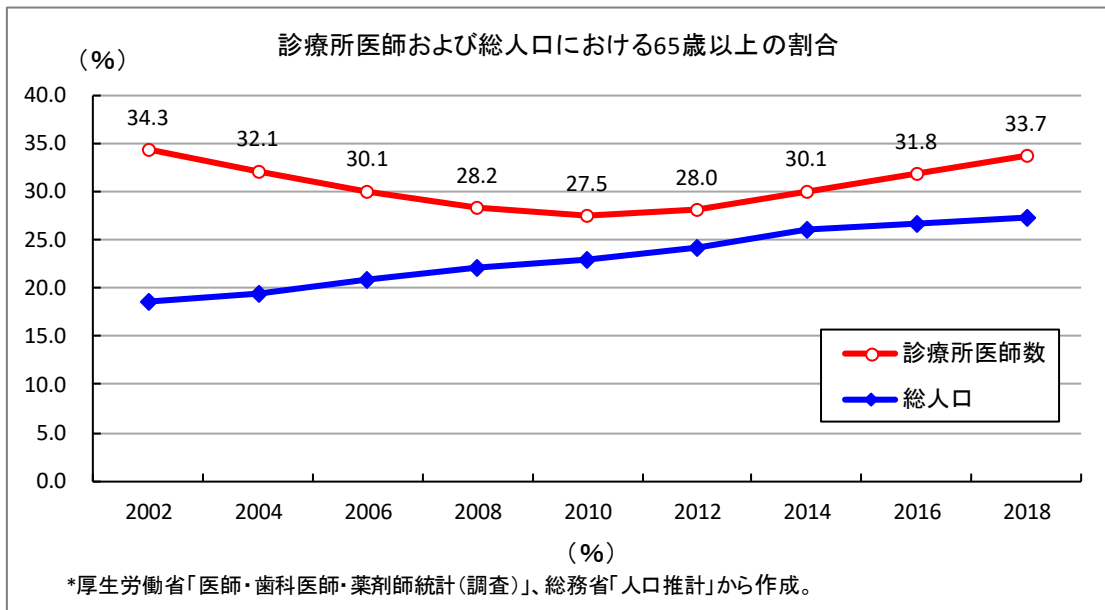
図 3.5.6 診療所 皮膚科 人口10万対医師数
(2018年・主たる診療科として選択)



3.6. 診療科別・年齢階級別医師数（全国）

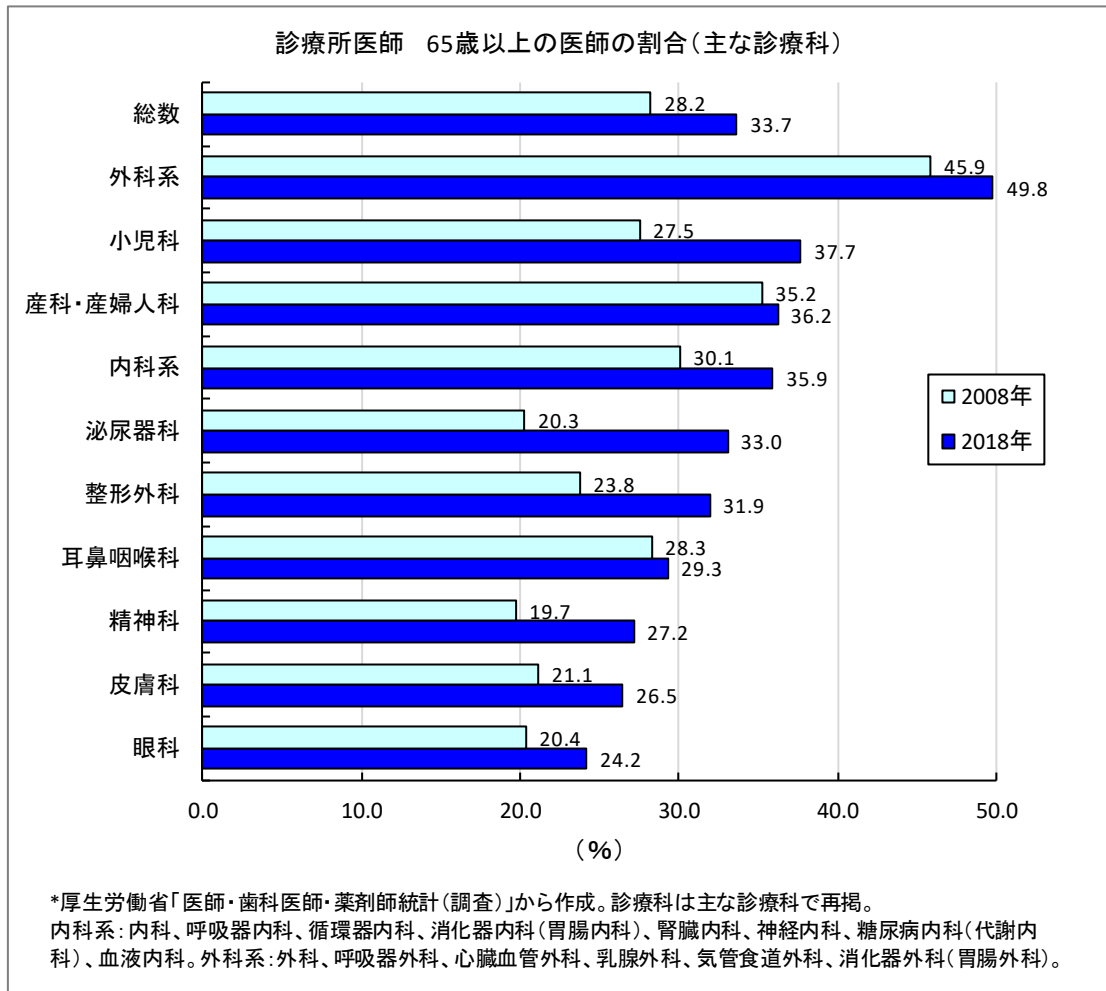
医師の年齢階級別構成比は、医師の高齢化率だけでなく、医学部入学定員にも影響を受ける。1979年にいわゆる「一県一医大構想」（前述）が完成するまで医学部定員数が引き上げられた。その頃に養成された医師が次々に参入してきたため、2016年まで65歳以上の診療所医師の割合は低下傾向にあった。2018年時点では65歳以上の医師の割合は、総人口における65歳以上人口の割合を上回る33.7%である（図3.6.1）。

図 3.6.1 診療所医師および総人口における65歳以上の割合



外科系は65歳以上の医師の割合が5割近くに達している。眼科、皮膚科は、相対的に65歳以上の医師の割合が低い(図3.6.2)。

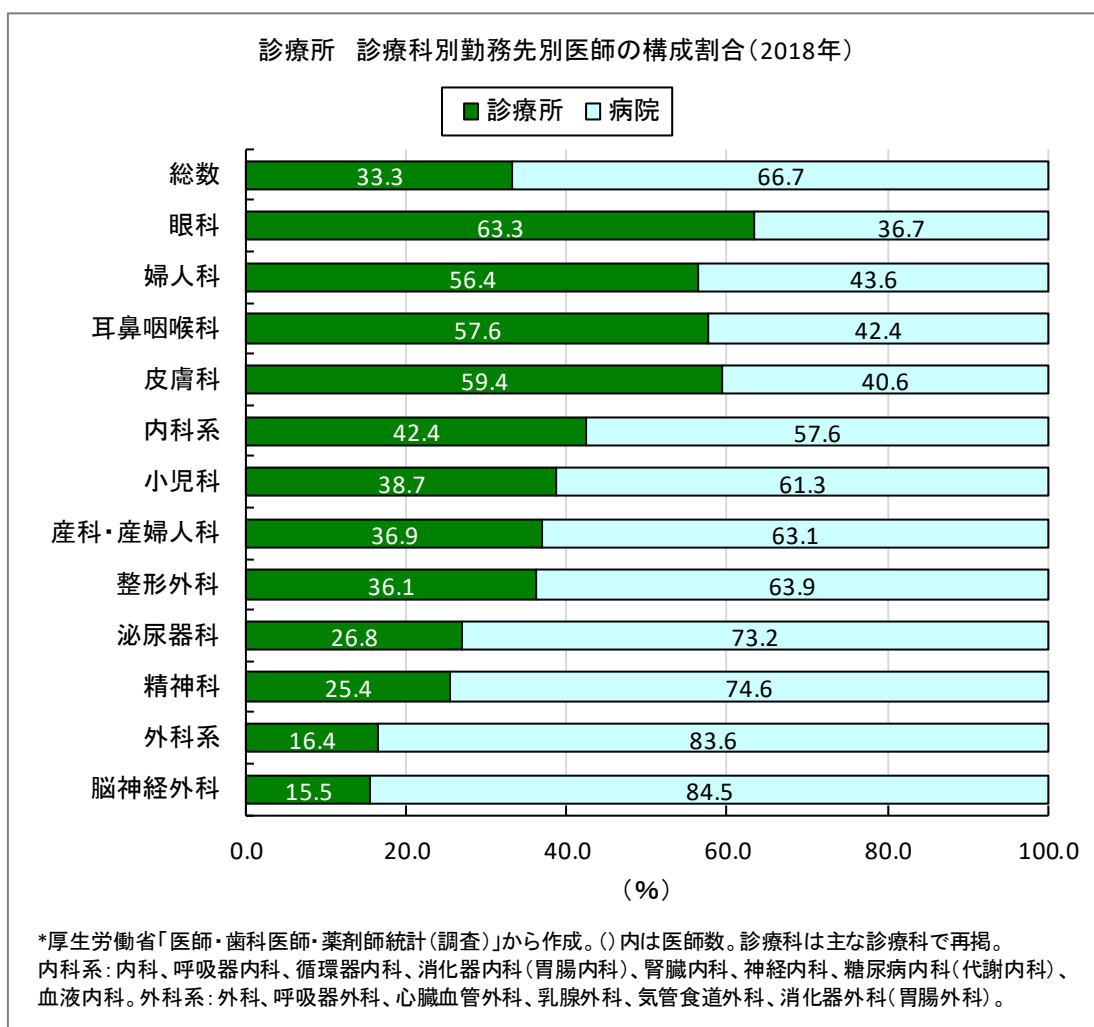
図 3.6.2 診療所医師 65歳以上の医師の割合(主な診療科)



3.7. 診療科別・勤務先別医師数（全国）

眼科、婦人科、耳鼻咽喉科、皮膚科は診療所医師が病院医師よりも多く、診療所によって担われているといえる診療科である（図 3.7.1）。

図 3.7.1 診療所 診療科別勤務先別医師の構成割合（2018年）



4. 診療科別診療行為別

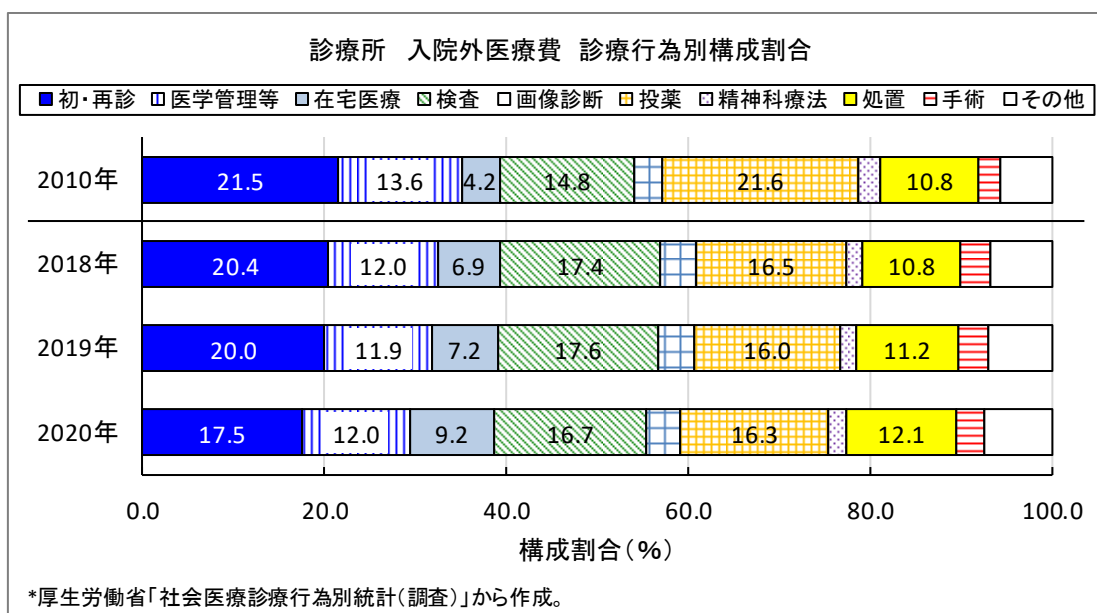
4.1. 入院外医療費

4.1.1. 診療行為別構成比

新型コロナウイルス感染症流行前までは、在宅医療の割合が拡大し、院外処方の影響もあって投薬の割合が縮小していた。

新型コロナウイルス感染症の流行後、2019年から2020年にかけて、初・再診の割合が減少し、ますます在宅医療の割合が拡大した（図 4.1.1）。

図 4.1.1 診療所 入院外医療費 診療行為別構成割合の変化



皮膚科、耳鼻咽喉科は初・再診の割合が大きい。このうち耳鼻咽喉科は2020年には新型コロナウイルス感染症流行による受診控えの影響で初・再診の割合が縮小した。

内科は2010年から2020年にかけて在宅医療の割合が2倍以上になり、在宅医療が入院外医療費の16.4%に達している。

診療科「その他」は処置の割合が大きい、人工透析を行なう医療機関が多く含まれているものと推察される(図4.1.2, 図4.1.3)。

図 4.1.2 診療所 入院外医療費 診療行為別構成割合 (2010年)

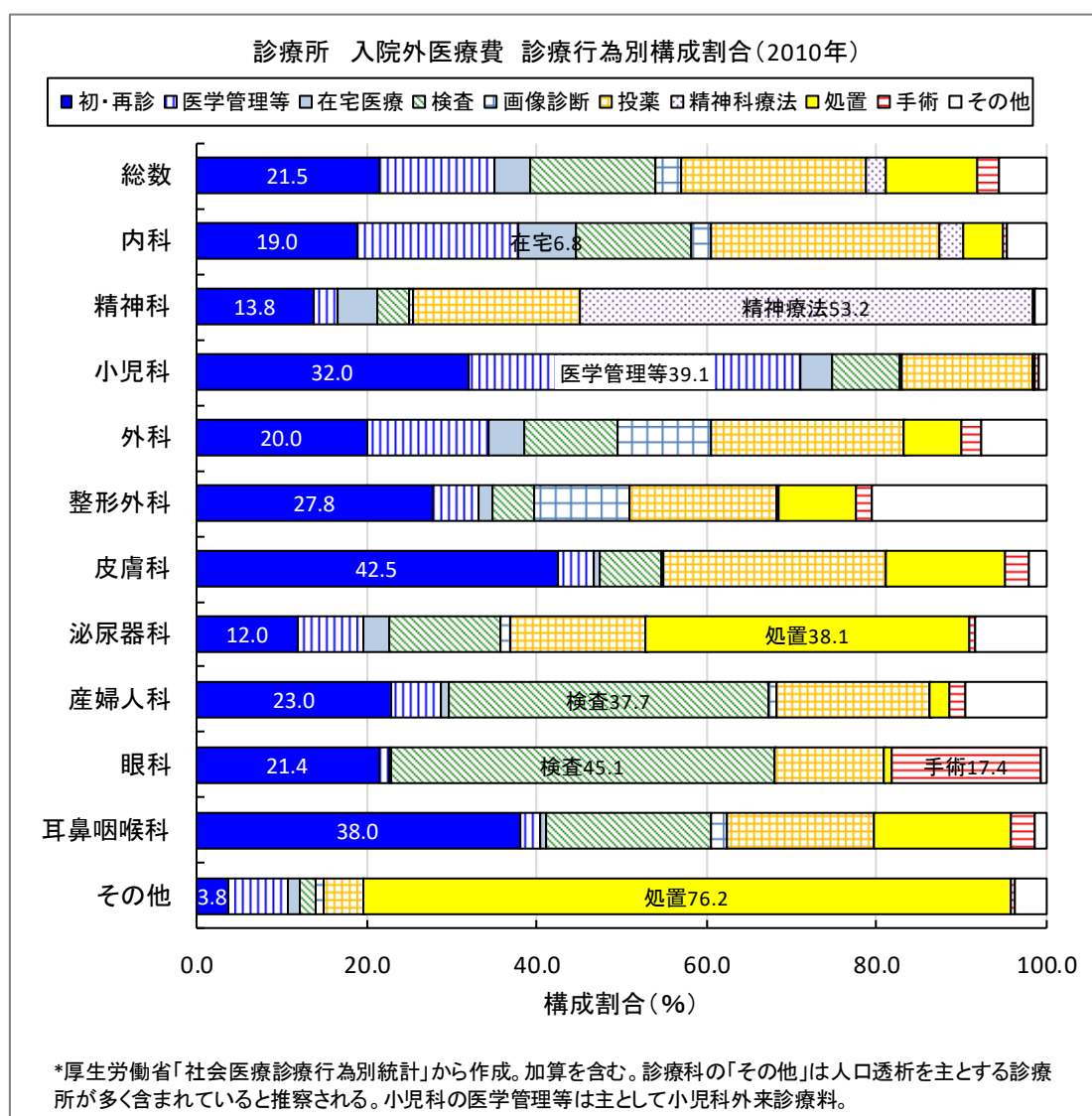
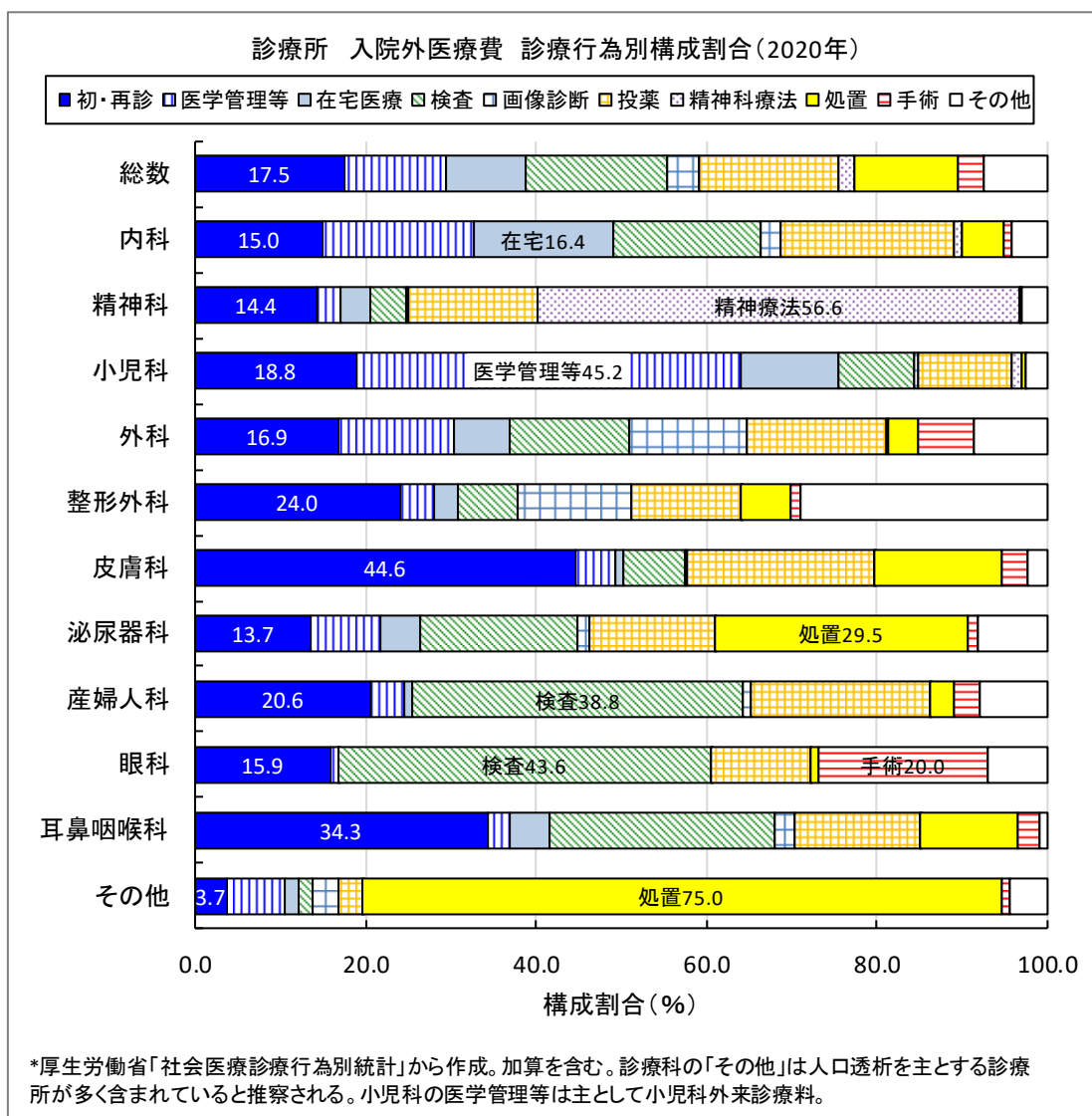


図 4.1.3 診療所 入院外医療費 診療行為別構成割合 (2020年)



筆者注:2020年には新型コロナウイルス感染症流行による受診控えの影響で「総数」で初・再診の割合が減少し、特に小児科で減少が大きい。なお、構成割合で示しており2020年度診療報酬改定その他さまざまな要因がある。

4.1.2. 初・再診

皮膚科、耳鼻咽喉科は、入院外医療費に占める初・再診費用のうち初診の割合が高く（図 4.1.4）、初診患者数の増減の影響を受けやすい。小児科は2020年に新型コロナウイルス感染症流行による受診控えの影響で、特に初診が大幅に減少した（図 4.1.5）。

図 4.1.4 診療所 入院外総医療費に占める初・再診の割合

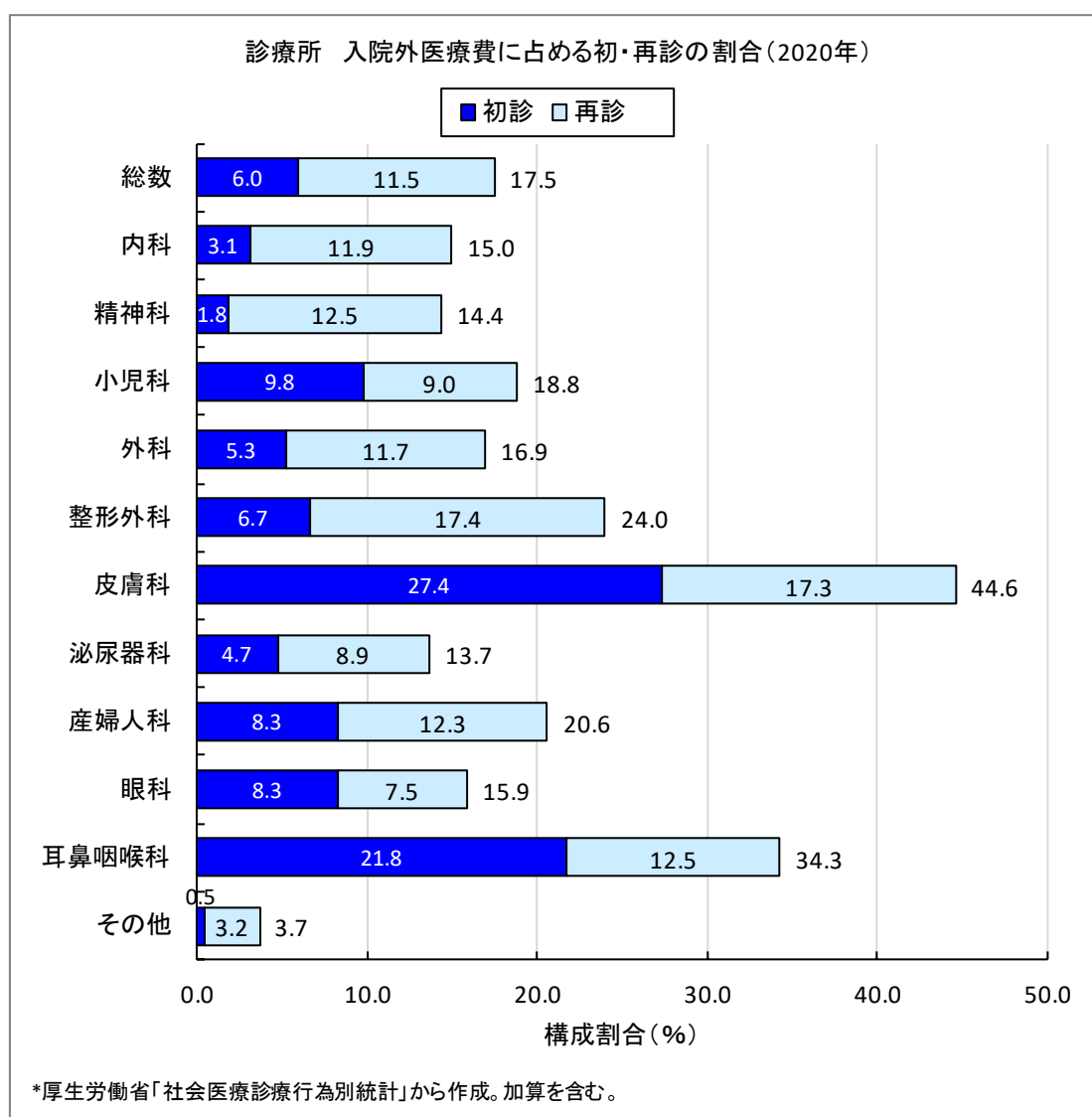


図 4.1.5 診療所 入院外総医療費に占める初診料の割合

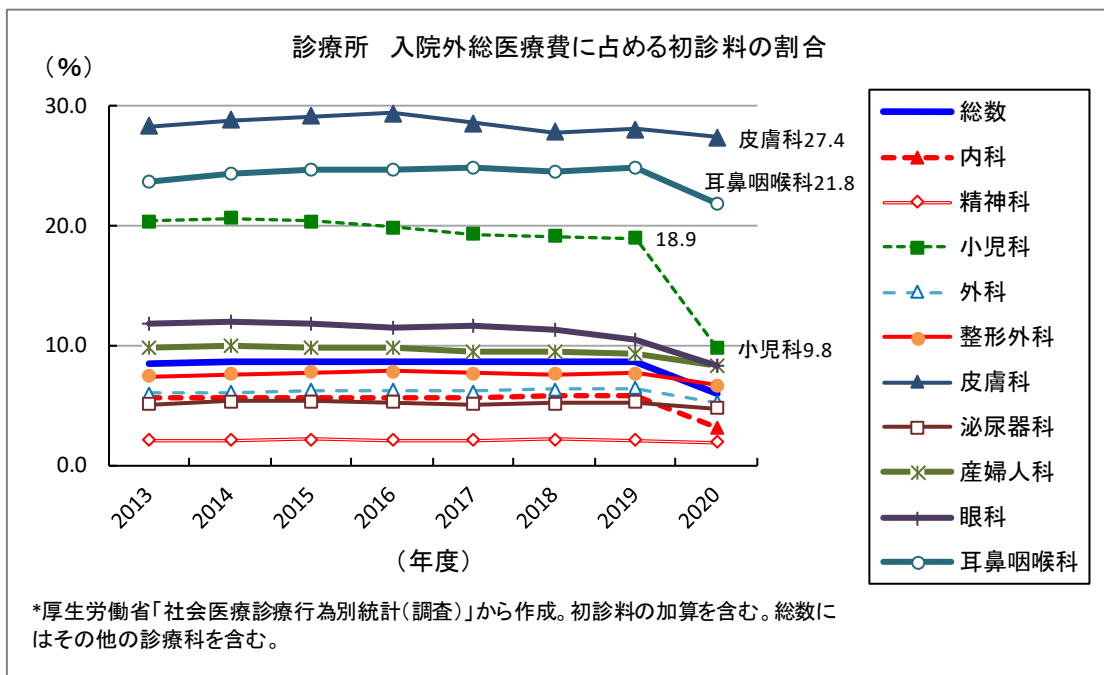
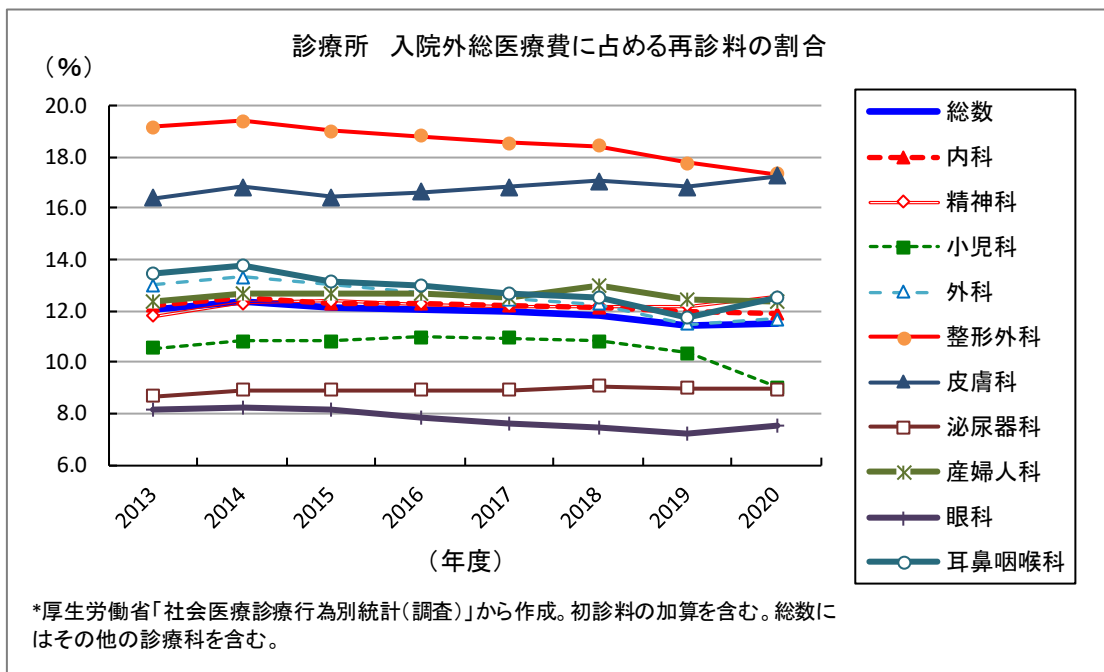


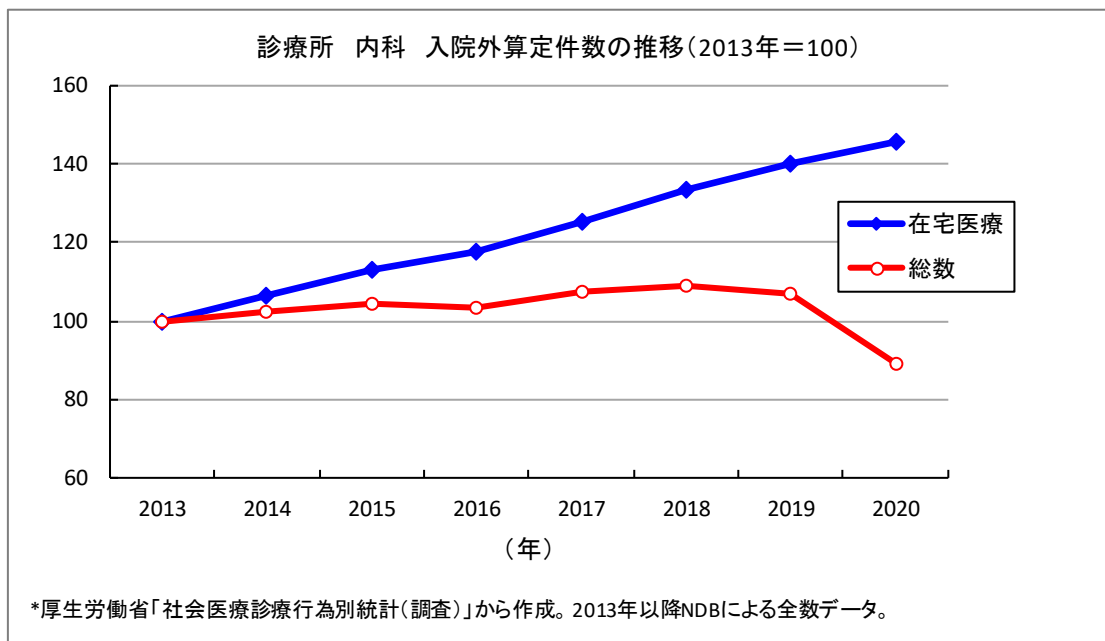
図 4.1.6 診療所 入院外総医療費に占める再診料の割合



4.1.3. 在宅医療

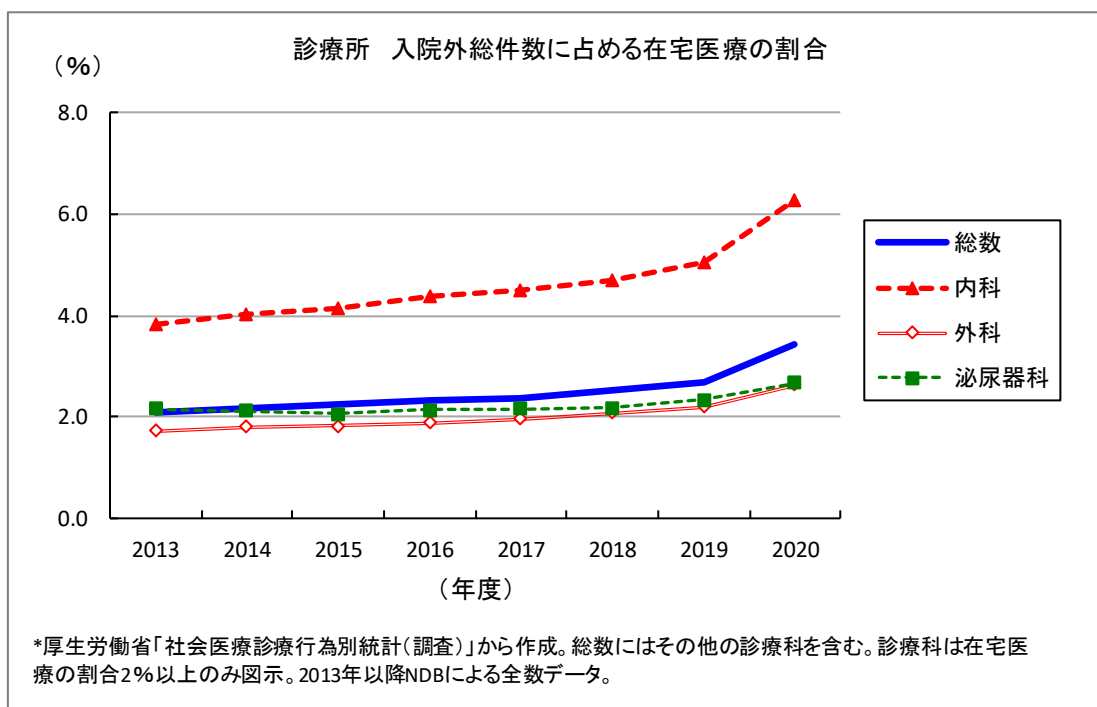
入院外医療費の構成割合に比較的顕著な変化があった診療行為のひとつは、内科の在宅医療である（前述）。内科の診療報酬算定回数は総数では患者となる人口減少や長期処方化によって減少しているが、在宅医療は高齢者人口の増加、在宅医療の進展によって算定回数が増加している。2020年も新型コロナウイルス感染症流行下における受診控えの影響で算定総数は大幅に減少したが、在宅医療は比較的堅調に増加した（図 4.1.7）。

図 4.1.7 診療所 内科 入院外算定件数の推移



入院外総件数に占める在宅医療の割合は、内科のほか、在宅医療件数の割合がやや高い泌尿器科、外科でも2019年から2020年にかけて上昇している。2020年は新型コロナウイルス感染症流行による受診控えの影響で総件数が減少した中、在宅医療は一定程度維持されたことがうかがえる（図 4.1.8）。

図 4.1.8 診療所 入院外総件数に占める在宅医療の割合



4.1.4. 人工透析

診療科「その他」は「処置」の割合が非常に高く（前述）、その多くは慢性維持透析（以下、人工透析）である（図 4.1.9）。泌尿器科でも人工透析が一定程度実施されている。主として人工透析を行なう医療機関は、医療費の構成が他の診療科とは異なるので、「社会医療診療行為別統計」等の集計結果においては別掲で示すことが望ましいのではないかと考える。

内科は、施設数も多く医療費の規模が大きいため、医療費に占める人工透析の割合は小さいが（図 4.1.9）、逆に、人工透析医療費の約 2 割は内科で実施されている（図 4.1.10）。

図 4.1.9 診療所 入院外医療費に占める人工腎臓（慢性維持透析）医療費の割合（2020年）

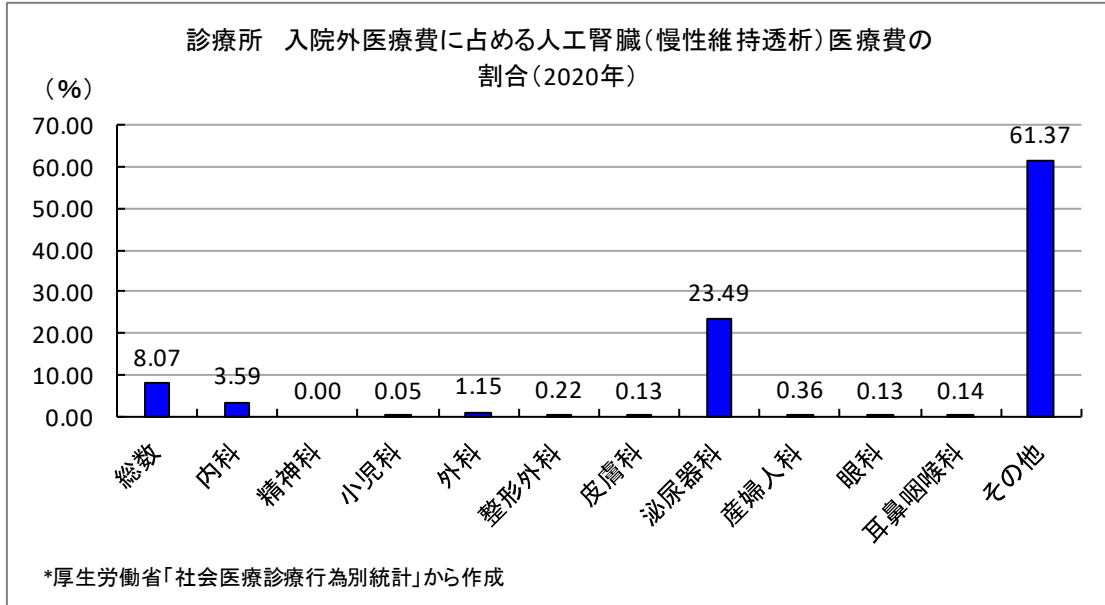
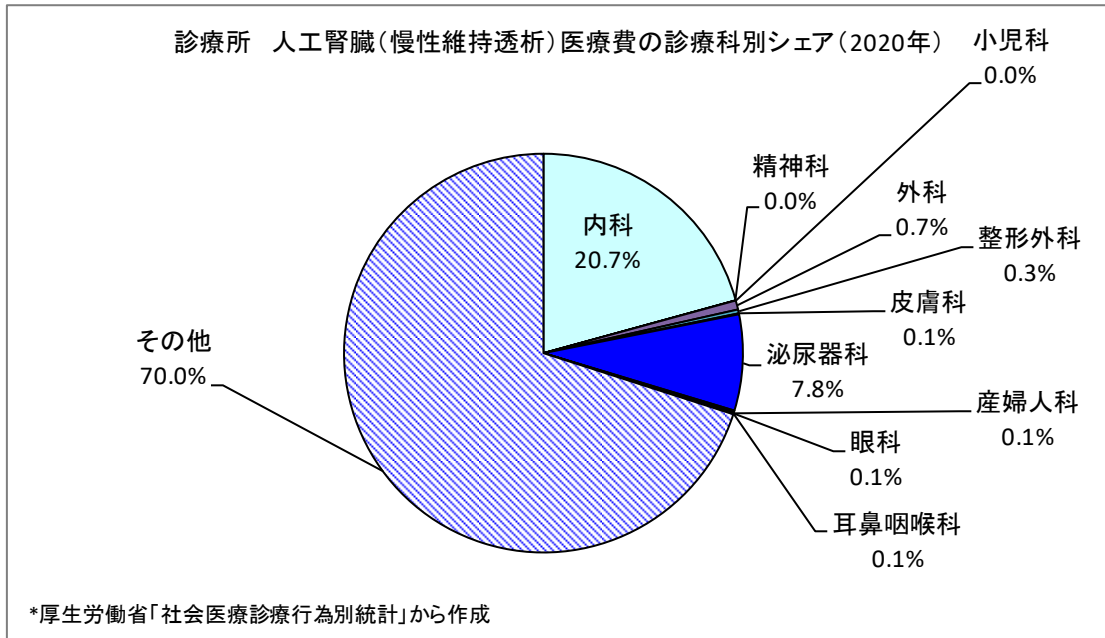


図 4.1.10 診療所 人工腎臓（慢性維持透析）医療費の診療科別シェア（2020年）



筆者注：診療科は主たる標榜科であり複数標榜しているケースがある。

4.2. 入院医療費

有床診療所の入院医療費の構成は、内科では入院料等が約 5 割であり、中期的に変化はなく、新型コロナウイルス感染症の影響も少なかった。内科の手術は、内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術、経皮的冠動脈ステント留置術、経皮的カテーテル心筋焼灼術などである。

耳鼻咽喉科は手術が 2010 年の約 6 割から 2020 年には約 7 割に拡大した。

整形外科は、人工関節置換術や脊椎固定術などの算定回数が高齢化要因もあって増加し、入院医療費に占める手術の割合が上昇した（図 4.2.1, 図 4.2.2）。

図 4.2.1 診療所 入院医療費 診療行為別構成割合 (2010年)

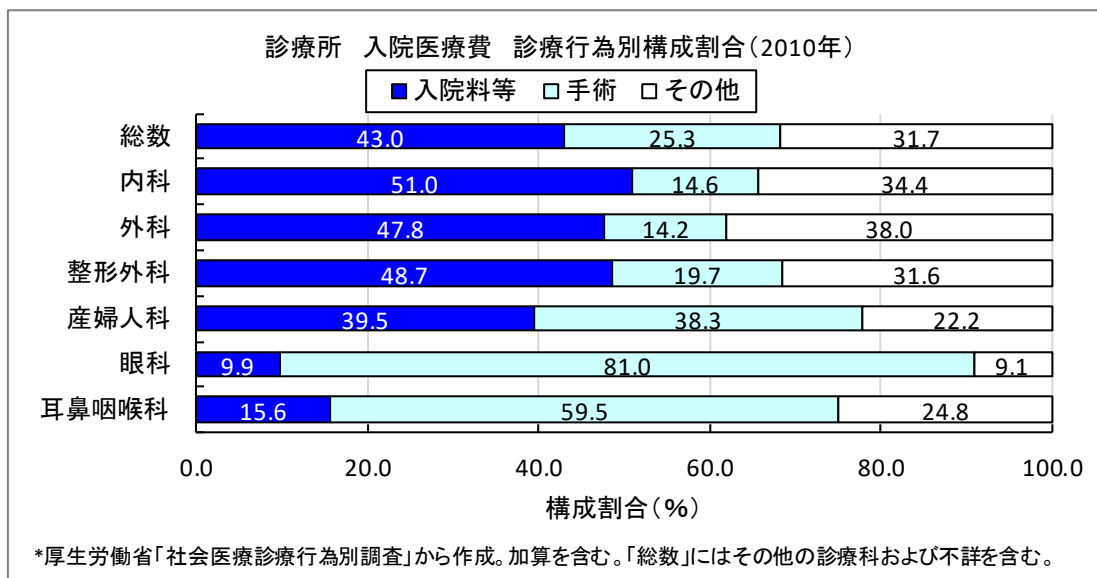
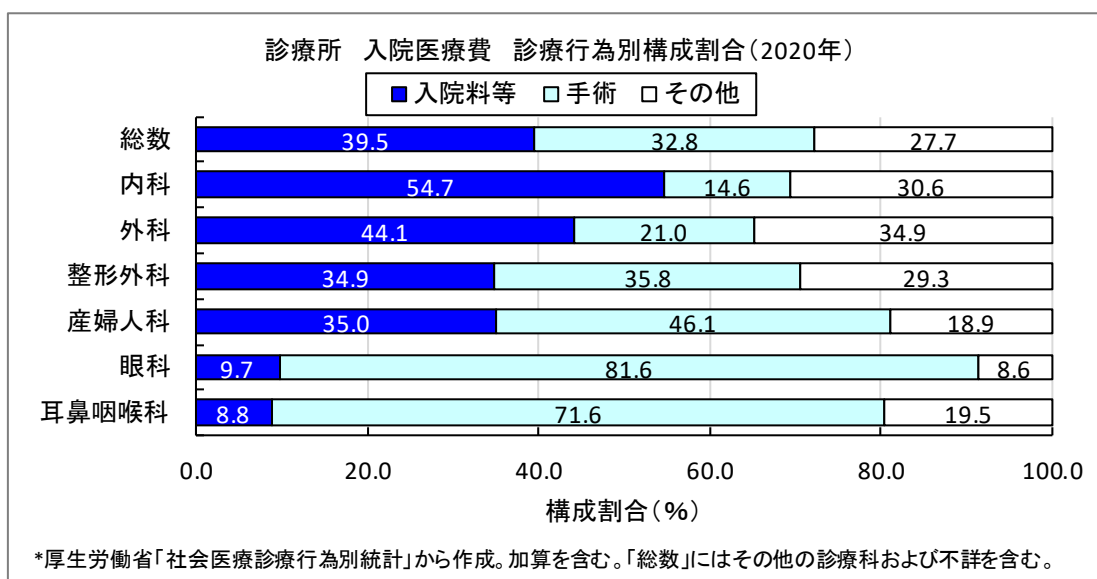


図 4.2.2 診療所 入院医療費 診療行為別構成割合 (2020年)



おわりに

医師をはじめとする医療資源の診療科偏在は、長い間、問題として認識されてきたが、決定的な決め手がないままに過ぎている。その背景に、議論に資するデータが整備されていないことが挙げられる。

本稿では、いくつかの統計調査をもとに診療科別の特性を示してきたが、調査そのもののあり方について、政府予算上の制約があることは承知した上で、以下の提案を行ないたい。

1. 「医療施設（静態・動態）調査」は保険医療機関を主軸とした集計を行うこと

一般に「診療所数」と言ったときには、同調査の診療所数（2017年は101,471施設）が用いられるが、これは保険診療を行なわない診療所（同8,842施設（8.7%））を含んでいる。都道府県医療計画等で有効活用するためには、保険診療を行なう医療機関に焦点を当てるべきではないかと考える。

2. 各種調査の診療科区分を統一すること

診療所が、ある地域のある診療科で開業して経営が成り立つかということとはきわめて重要（診療報酬にもかかわる問題）である。その分析を行なうため保険収入のデータである「概算医療費データベース」は、供給体制のデータである「医療施設（静態・動態）調査」と診療科の区分をあわせるべきである。また、「社会医療診療行為別統計」は1施設当たりの診療行為別保険収入を分析できるよう診療科別診療所数を公表すべきである。

3. 「医師・歯科医師・薬剤師統計」は利用者ニーズによる集計を可能にすること

同調査は、医師の主たる診療科のみならず、従たる診療科、専門性に関する資格、さらに兼務先や兼務日数などの情報も収集しているが、一般に公開されているのは一部の集計表であり、貴重なデータが有効活用されていない。政府統計の中にはデータベースの項目を任意に選択して、クロス集計表やグラフを表示できるものもあり、参考にして改良していただきたい。

5. データ集

5.1. 診療所数

5.1.1. 診療科別診療所数

	1996 H8	1999 H11	2002 H14	2005 H17	2008 H20	2011 H23	2014 H26	2017 H29
内科系	—	—	—	—	54,902	53,909	55,349	55,898
（再掲）内科	45,800	46,815	48,546	49,501	50,237	48,810	49,843	49,961
外科系	—	—	—	—	3,777	3,479	3,154	2,850
（再掲）外科	5,154	4,952	4,344	3,950	3,343	3,049	2,739	2,388
皮膚科	3,205	3,501	3,712	3,936	4,448	4,411	4,569	4,758
小児科	4,857	5,149	5,276	5,481	5,411	5,381	5,510	5,426
精神科	1,295	1,619	1,878	2,269	2,585	2,909	3,160	3,439
整形外科	4,940	5,696	6,157	6,541	6,761	6,915	7,228	7,317
眼科	6,686	7,041	7,305	7,472	7,261	7,167	7,177	7,211
耳鼻咽喉科	4,552	4,738	4,838	4,859	4,825	4,842	4,977	4,956
産科・産婦人科	3,878	3,857	3,631	3,368	3,267	3,054	2,904	2,822
婦人科	789	780	746	786	687	663	670	665
その他	6,753	7,352	8,386	9,279	10,258	12,346	11,684	12,528
総数	87,909	91,500	94,819	97,442	99,083	99,547	100,461	101,471

（再掲）有床診療所数

	1996	1999	2002	2005	2008	2011	2014	2017
内科	6,982	5,977	5,256	4,226	3,567	2,960	2,517	2,192
外科	2,823	2,414	1,806	1,339	974	773	592	431
整形外科	2,019	1,912	1,654	1,398	1,199	1,048	901	785
産科・産婦人科	3,680	3,600	3,253	2,873	2,549	2,205	1,910	1,704
眼科	1,086	1,166	1,165	1,052	960	839	758	661
その他	3,862	3,418	3,044	2,589	2,251	2,109	1,677	1,429
総数	20,452	18,487	16,178	13,477	11,500	9,934	8,355	7,202

*厚生労働省「医療施設静態調査」から作成

診療報酬の請求がある診療所

	2013 H25	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2
内科	39,752	39,659	39,670	39,727	39,800	39,866	39,859	40,068
小児科	5,017	5,030	5,029	5,049	5,062	5,087	5,136	5,063
外科	4,523	4,421	4,294	4,155	3,996	3,861	3,761	3,474
整形外科	6,935	6,970	7,014	7,092	7,169	7,204	7,237	7,251
皮膚科	4,223	4,247	4,272	4,315	4,379	4,398	4,431	4,449
産婦人科	3,631	3,558	3,500	3,468	3,437	3,393	3,376	3,309
眼科	6,695	6,722	6,749	6,812	6,865	6,891	6,932	6,976
耳鼻咽喉科	5,028	5,045	5,026	5,025	5,026	5,013	5,025	5,005
その他	8,838	9,016	9,167	9,306	9,437	9,569	9,735	9,922
総数	84,642	84,667	84,720	84,948	85,171	85,282	85,491	85,518

*厚生労働省「概算医療費データベース」から作成。期中平均。2020年度は2020年4月～2021年2月の平均。

5.1.2. 単科・複数科別診療所数

	2008(H20)			2017(H29)		
	単科 ①	複数科 ②	計 ③	単科 ①	複数科 ②	計 ③
総数	35,180	63,903	99,083	36,365	65,106	101,471
内科	14,182	36,055	50,237	14,976	34,985	49,961
呼吸器内科	23	253	276	25	377	402
循環器内科	130	1,198	1,328	107	1,488	1,595
消化器内科(胃腸内科)	187	2,246	2,433	160	2,357	2,517
腎臓内科	28	82	110	170	352	522
神経内科	35	351	386	35	321	356
糖尿病内科(代謝内科)	16	113	129	52	479	531
血液内科	-	3	3	5	9	14
皮膚科	2,572	1,876	4,448	2,793	1,965	4,758
アレルギー科	16	222	238	8	175	183
リウマチ科	6	267	273	9	228	237
感染症内科	3	22	25	7	12	19
小児科	2,468	2,943	5,411	2,331	3,095	5,426
精神科	546	2,039	2,585	571	2,868	3,439
心療内科	87	521	608	81	666	747
外科	294	3,049	3,343	162	2,226	2,388
呼吸器外科	1	-	1	2	2	4
心臓血管外科	5	21	26	20	53	73
乳腺外科	14	50	64	65	133	198
気管食道外科	-	53	53	-	17	17
消化器外科(胃腸外科)	22	268	290	15	155	170
泌尿器科	492	945	1,437	589	1,123	1,712
肛門外科	56	162	218	61	161	222
脳神経外科	131	698	829	155	868	1,023
整形外科	1,065	5,696	6,761	1,140	6,177	7,317
形成外科	44	261	305	51	389	440
美容外科	133	326	459	279	337	616
眼科	6,961	300	7,261	6,878	333	7,211
耳鼻いんこう科	3,222	1,603	4,825	3,284	1,672	4,956
小児外科	6	8	14	11	16	27
産婦人科	1,938	1,139	3,077	1,751	900	2,651
産科	9	181	190	21	150	171
婦人科	286	401	687	294	371	665
リハビリテーション科	33	82	115	42	83	125
放射線科	53	92	145	54	104	158
麻酔科	108	265	373	125	266	391
病理診断科	4	1	5	20	-	20
臨床検査科	2	1	3	11	2	13
救急科	2	2	4	5	9	14
歯科	-	105	105	-	177	177
矯正歯科	-	1	1	-	1	1
小児歯科	-	1	1	-	-	0
歯科口腔外科	-	1	1	-	4	4

*厚生労働省「医療施設静態調査」から作成。

単科：1施設1科目のみの施設、複数科：複数科標ぼうしている施設の従たる診療科。

5.2. 診療所医師数

5.2.1. 診療科別医師数（主たる・従たる診療科）

	2008(H20)年				2018(H30)年			
	主たる診療科	従たる診療科	計	計/主(倍)	主たる診療科	従たる診療科	計	計/主(倍)
総数	97,631	-	-	-	103,836	-	-	-
内科	39,232	14,441	53,673	1.37	38,883	14,120	53,003	1.36
呼吸器内科	444	6,320	6,764	15.23	657	5,907	6,564	9.99
循環器内科	1,701	9,535	11,236	6.61	2,112	8,161	10,273	4.86
消化器内科(胃腸内科)	3,140	14,338	17,478	5.57	3,549	11,999	15,548	4.38
腎臓内科	317	856	1,173	3.70	992	1,614	2,606	2.63
神経内科	345	1,877	2,222	6.44	531	1,718	2,249	4.24
糖尿病内科(代謝内科)	425	1,727	2,152	5.06	943	3,189	4,132	4.38
血液内科	27	296	323	11.96	20	420	440	22.00
皮膚科	4,856	5,876	10,732	2.21	5,557	4,550	10,107	1.82
アレルギー科	72	5,514	5,586	77.58	71	5,679	5,750	80.99
リウマチ科	162	3,559	3,721	22.97	187	3,255	3,442	18.41
感染症内科	72	296	368	5.11	11	431	442	40.18
小児科	6,515	14,037	20,552	3.15	6,707	9,668	16,375	2.44
精神科	2,959	955	3,914	1.32	4,039	1,047	5,086	1.26
心療内科	559	2,698	3,257	5.83	640	3,049	3,689	5.76
外科	4,131	8,195	12,326	2.98	2,862	6,683	9,545	3.34
呼吸器外科	18	132	150	8.33	17	124	141	8.29
心臓血管外科	66	244	310	4.70	111	225	336	3.03
乳腺外科	156	246	402	2.58	368	411	779	2.12
気管食道外科	13	550	563	43.31	-	-	277	-
消化器外科(胃腸外科)	325	1,222	1,547	4.76	228	854	1,082	4.75
泌尿器科	1,661	1,656	3,317	2.00	1,991	1,101	3,092	1.55
肛門外科	276	2,646	2,922	10.59	257	2,097	2,354	9.16
脳神経外科	956	404	1,360	1.42	1,167	325	1,492	1.28
整形外科	7,297	3,672	10,969	1.50	7,903	2,749	10,652	1.35
形成外科	364	1,042	1,406	3.86	569	877	1,446	2.54
美容外科	384	316	700	1.82	664	369	1,033	1.56
眼科	7,905	240	8,145	1.03	8,442	144	8,586	1.02
耳鼻咽喉科	5,394	248	5,642	1.05	5,351	162	5,513	1.03
小児外科	26	275	301	11.58	28	261	289	10.32
産婦人科	4,319	204	4,523	1.05	4,072	117	4,189	1.03
産科	106	141	247	2.33	109	126	235	2.16
婦人科	967	633	1,600	1.65	1,097	337	1,434	1.31
リハビリテーション科	136	10,597	10,733	78.92	153	8,167	8,320	54.38
放射線科	322	3,273	3,595	11.16	456	1,862	2,318	5.08
麻酔科	514	1,524	2,038	3.96	538	1,100	1,638	3.04
病理診断科	22	19	41	1.86	50	29	79	1.58
臨床検査科	6	23	29	4.83	8	36	44	5.50
救急科	5	43	48	9.60	29	86	115	3.97
臨床研修医	14	4	18	1.29	13	0	13	1.00
全科	98	0	98	1.00	88	0	88	1.00
その他	573	497	1,070	1.87	1,045	787	1,832	1.75

*厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計(調査)」から作成。「総数」には「主たる診療科不詳」を含む。

5.2.2. 診療科別・性別医師数

「総数」には以下に掲げる診療科以外の診療科を含む (人)

		2006 H18	2008 H20	2010 H22	2012 H24	2014 H26	2016 H28	2018 H30
総数	総数	95,213	97,631	99,465	100,544	101,884	102,457	103,836
	男	80,468	81,887	82,830	82,962	83,308	83,069	83,463
	女	14,745	15,744	16,635	17,582	18,576	19,388	20,373
内科系	総数	—	45,631	46,233	46,437	47,205	46,981	47,687
	男	—	40,173	40,409	40,251	40,605	40,170	40,487
	女	—	5,458	5,824	6,186	6,600	6,811	7,200
(再掲)内科	総数	39,374	39,232	39,222	39,092	39,726	38,874	38,883
	男	34,594	34,436	34,218	33,827	34,120	33,225	33,037
	女	4,780	4,796	5,004	5,265	5,606	5,649	5,846
皮膚科	総数	4,587	4,856	5,016	5,158	5,277	5,411	5,557
	男	2,999	3,090	3,114	3,114	3,096	3,092	3,098
	女	1,588	1,766	1,902	2,044	2,181	2,319	2,459
小児科	総数	6,472	6,515	6,562	6,596	6,650	6,582	6,707
	男	4,560	4,560	4,538	4,523	4,503	4,454	4,485
	女	1,912	1,955	2,024	2,073	2,147	2,128	2,222
精神科	総数	2,496	2,959	3,238	3,559	3,774	3,862	4,039
	男	1,982	2,341	2,579	2,793	2,961	2,991	3,131
	女	514	618	659	766	813	871	908
外科系	総数	—	4,709	4,583	4,379	4,120	3,824	3,586
	男	—	4,588	4,463	4,223	3,951	3,640	3,377
	女	—	121	120	156	169	184	209
(再掲)外科	総数	4,836	4,131	3,981	3,746	3,453	3,130	2,862
	男	4,728	4,055	3,912	3,659	3,370	3,056	2,780
	女	108	76	69	87	83	74	82
泌尿器科	総数	1,560	1,661	1,736	1,780	1,825	1,908	1,991
	男	1,535	1,629	1,702	1,745	1,787	1,862	1,941
	女	25	32	34	35	38	46	50
脳神経外科	総数	864	956	1,053	1,084	1,132	1,128	1,167
	男	849	938	1,037	1,063	1,102	1,096	1,133
	女	15	18	16	21	30	32	34
整形外科	総数	7,017	7,297	7,558	7,674	7,814	7,796	7,903
	男	6,853	7,122	7,356	7,464	7,583	7,541	7,620
	女	164	175	202	210	231	255	283
眼科	総数	7,573	7,905	8,063	8,147	8,245	8,395	8,442
	男	4,851	5,065	5,164	5,229	5,252	5,340	5,347
	女	2,722	2,840	2,899	2,918	2,993	3,055	3,095
耳鼻咽喉科	総数	5,265	5,394	5,406	5,443	5,470	5,433	5,351
	男	4,370	4,486	4,463	4,477	4,493	4,437	4,370
	女	895	908	943	966	977	996	981
産科・産婦人科	総数	4,391	4,425	4,403	4,270	4,240	4,299	4,181
	男	3,750	3,672	3,611	3,438	3,342	3,260	3,088
	女	641	753	792	832	898	1,039	1,093

*厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計(調査)」から作成

5.2.3. 診療科別・性別医師数構成比

「総数」には以下に掲げる以外の診療科を含む

(%)

		2006 H18	2008 H20	2010 H22	2012 H24	2014 H26	2016 H28	2018 H30
総数	総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	男	84.5	83.9	83.3	82.5	81.8	81.1	80.4
	女	15.5	16.1	16.7	17.5	18.2	18.9	19.6
内科系	総数	—	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	男	—	88.0	87.4	86.7	86.0	85.5	84.9
	女	—	12.0	12.6	13.3	14.0	14.5	15.1
(再掲)内科	総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	男	87.9	87.8	87.2	86.5	85.9	85.5	85.0
	女	12.1	12.2	12.8	13.5	14.1	14.5	15.0
皮膚科	総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	男	65.4	63.6	62.1	60.4	58.7	57.1	55.7
	女	34.6	36.4	37.9	39.6	41.3	42.9	44.3
小児科	総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	男	70.5	70.0	69.2	68.6	67.7	67.7	66.9
	女	29.5	30.0	30.8	31.4	32.3	32.3	33.1
精神科	総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	男	79.4	79.1	79.6	78.5	78.5	77.4	77.5
	女	20.6	20.9	20.4	21.5	21.5	22.6	22.5
外科系	総数	—	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	男	—	97.4	97.4	96.4	95.9	95.2	94.2
	女	—	2.6	2.6	3.6	4.1	4.8	5.8
(再掲)外科	総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	男	97.8	98.2	98.3	97.7	97.6	97.6	97.1
	女	2.2	1.8	1.7	2.3	2.4	2.4	2.9
泌尿器科	総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	男	98.4	98.1	98.0	98.0	97.9	97.6	97.5
	女	1.6	1.9	2.0	2.0	2.1	2.4	2.5
脳神経外科	総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	男	98.3	98.1	98.5	98.1	97.3	97.2	97.1
	女	1.7	1.9	1.5	1.9	2.7	2.8	2.9
整形外科	総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	男	97.7	97.6	97.3	97.3	97.0	96.7	96.4
	女	2.3	2.4	2.7	2.7	3.0	3.3	3.6
眼科	総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	男	64.1	64.1	64.0	64.2	63.7	63.6	63.3
	女	35.9	35.9	36.0	35.8	36.3	36.4	36.7
耳鼻咽喉科	総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	男	83.0	83.2	82.6	82.3	82.1	81.7	81.7
	女	17.0	16.8	17.4	17.7	17.9	18.3	18.3
産科・産婦人科	総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	男	85.4	83.0	82.0	80.5	78.8	75.8	73.9
	女	14.6	17.0	18.0	19.5	21.2	24.2	26.1

*厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」から作成

5.2.4. 診療科別・都道府県別人口10万対医師数

2018年

	内科系				外科系				皮膚科			
	主たる診療科 ①	従たる診療科 ②	計 ③	③÷① (倍)	主たる診療科 ①	従たる診療科 ②	計 ③	③÷① (倍)	主たる診療科 ①	従たる診療科 ②	計 ③	③÷① (倍)
全国	37.7	37.3	75.0	2.0	2.8	6.8	9.6	3.4	4.4	3.6	8.0	1.8
北海道	29.7	25.4	55.1	1.9	1.8	3.4	5.2	2.9	4.2	1.3	5.4	1.3
青森県	31.4	48.2	79.6	2.5	2.8	5.5	8.3	3.0	3.1	4.3	7.4	2.4
岩手県	30.1	44.2	74.3	2.5	3.5	6.8	10.3	3.0	3.1	3.1	6.1	2.0
宮城県	37.3	43.1	80.4	2.2	3.2	5.3	8.5	2.6	3.6	3.6	7.2	2.0
秋田県	34.1	42.8	76.9	2.3	2.5	6.3	8.9	3.5	2.5	2.4	5.0	2.0
山形県	35.6	41.9	77.5	2.2	3.2	6.6	9.8	3.1	4.1	3.9	8.0	1.9
福島県	36.5	48.6	85.0	2.3	1.6	7.4	9.0	5.6	2.5	3.8	6.3	2.5
茨城県	29.7	28.5	58.2	2.0	1.7	7.2	8.9	5.2	3.2	3.9	7.1	2.2
栃木県	37.1	49.7	86.8	2.3	3.2	8.3	11.5	3.6	3.6	5.3	8.9	2.5
群馬県	39.4	46.2	85.5	2.2	3.2	7.4	10.6	3.3	3.4	4.3	7.7	2.2
埼玉県	27.3	27.9	55.1	2.0	1.7	6.0	7.7	4.6	3.8	3.6	7.4	2.0
千葉県	28.2	25.8	54.0	1.9	1.7	6.3	8.0	4.6	3.6	3.5	7.1	2.0
東京都	46.1	39.4	85.5	1.9	1.9	7.0	8.9	4.7	7.2	6.6	13.9	1.9
神奈川県	33.9	28.8	62.8	1.9	1.3	5.7	7.0	5.5	4.6	3.8	8.4	1.8
新潟県	31.7	24.6	56.3	1.8	1.4	4.0	5.4	3.9	3.7	1.5	5.2	1.4
富山県	33.6	38.9	72.5	2.2	3.1	5.8	9.0	2.8	3.9	1.7	5.6	1.4
石川県	34.0	36.3	70.3	2.1	3.5	6.5	10.0	2.9	4.0	1.6	5.6	1.4
福井県	31.0	38.8	69.8	2.3	3.0	8.3	11.2	3.8	3.6	3.1	6.7	1.9
山梨県	36.8	30.5	67.3	1.8	2.2	6.6	8.8	4.0	3.6	2.6	6.1	1.7
長野県	36.3	29.5	65.8	1.8	3.0	5.6	8.6	2.9	3.1	2.7	5.7	1.9
岐阜県	43.5	48.7	92.2	2.1	2.5	9.1	11.6	4.6	4.3	6.5	10.8	2.5
静岡県	34.7	28.2	63.0	1.8	3.4	6.4	9.8	2.9	3.5	2.7	6.2	1.8
愛知県	32.5	31.5	63.9	2.0	2.7	6.3	9.0	3.4	4.2	4.6	8.8	2.1
三重県	43.7	45.4	89.1	2.0	2.5	8.9	11.4	4.6	4.1	3.4	7.4	1.8
滋賀県	34.4	34.3	68.7	2.0	2.2	7.1	9.3	4.2	2.8	3.1	5.9	2.1
京都府	45.9	38.3	84.2	1.8	4.9	6.4	11.3	2.3	4.9	3.9	8.8	1.8
大阪府	42.0	33.7	75.7	1.8	3.0	7.3	10.3	3.4	4.4	4.0	8.4	1.9
兵庫県	39.7	35.9	75.6	1.9	4.1	6.6	10.8	2.6	4.6	2.1	6.7	1.5
奈良県	39.7	34.4	74.1	1.9	1.4	8.4	9.9	6.9	4.3	3.2	7.5	1.7
和歌山県	60.8	75.6	136.5	2.2	3.4	10.4	13.8	4.0	3.7	2.8	6.5	1.7
鳥取県	50.9	55.4	106.2	2.1	2.5	9.1	11.6	4.6	4.5	3.2	7.7	1.7
島根県	49.6	40.6	90.1	1.8	1.6	6.3	7.9	4.9	3.8	1.8	5.6	1.5
岡山県	42.8	43.0	85.9	2.0	3.6	5.8	9.5	2.6	4.0	3.2	7.2	1.8
広島県	46.8	58.5	105.3	2.2	5.4	8.1	13.5	2.5	4.6	1.9	6.6	1.4
山口県	39.8	47.7	87.5	2.2	5.1	6.3	11.4	2.2	5.1	1.9	7.0	1.4
徳島県	52.2	74.2	126.4	2.4	5.0	9.9	14.9	3.0	5.6	5.0	10.6	1.9
香川県	41.7	47.5	89.2	2.1	5.7	7.6	13.3	2.3	5.2	2.3	7.5	1.4
愛媛県	40.2	38.8	79.0	2.0	5.5	6.8	12.4	2.2	4.3	1.8	6.1	1.4
高知県	37.0	42.6	79.6	2.2	2.1	4.2	6.4	3.0	2.8	2.5	5.4	1.9
福岡県	41.5	43.4	84.9	2.0	5.3	7.0	12.3	2.3	4.9	2.3	7.2	1.5
佐賀県	43.1	46.6	89.8	2.1	2.9	8.3	11.2	3.8	4.3	2.9	7.2	1.7
長崎県	45.3	48.5	93.9	2.1	8.4	11.1	19.5	2.3	4.7	3.1	7.8	1.7
熊本県	44.8	59.7	104.5	2.3	3.0	10.0	13.0	4.4	4.5	2.6	7.1	1.6
大分県	44.5	55.0	99.5	2.2	3.0	10.9	13.9	4.7	3.9	1.7	5.7	1.4
宮崎県	37.0	41.3	78.3	2.1	4.3	11.4	15.7	3.6	3.5	2.2	5.7	1.6
鹿児島県	41.8	47.0	88.9	2.1	4.5	9.7	14.1	3.2	3.6	2.0	5.6	1.6
沖縄県	26.0	30.8	56.8	2.2	2.2	5.0	7.2	3.3	3.3	4.8	8.1	2.4
東京都区部	52.0	44.1	96.1	1.8	2.2	7.8	10.0	4.6	8.4	7.7	16.1	1.9

内科系：内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科（胃腸内科）、腎臓内科、神・経内科糖尿病内科（代謝内科）、血液内科

外科系：呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、気管食道外科、消化器外科（胃腸外科）

*厚生労働省「平成30年 医師・歯科医師・薬剤師統計」から作成

2018年

	精神科				整形外科				小児科(分母は小児人口)			
	主たる 診療科 ①	従たる 診療科 ②	計 ③	③÷① (倍)	主たる 診療科 ①	従たる 診療科 ②	計 ③	③÷① (倍)	主たる 診療科 ①	従たる 診療科 ②	計 ③	③÷① (倍)
全国	3.2	0.8	4.0	1.3	6.2	2.2	8.4	1.3	42.0	60.6	102.7	2.4
北海道	2.6	0.6	3.2	1.2	5.2	1.4	6.6	1.3	35.1	38.1	73.2	2.1
青森県	1.7	1.0	2.8	1.6	6.1	2.7	8.8	1.4	33.3	78.4	111.7	3.4
岩手県	1.5	0.6	2.2	1.4	5.2	2.8	8.0	1.5	35.6	30.2	65.8	1.8
宮城県	2.7	1.1	3.8	1.4	6.2	2.6	8.8	1.4	36.3	53.4	89.7	2.5
秋田県	2.1	0.4	2.5	1.2	5.6	2.0	7.6	1.4	46.6	56.4	103.0	2.2
山形県	1.9	1.0	2.9	1.5	6.9	1.8	8.7	1.3	46.9	35.4	82.3	1.8
福島県	2.7	0.6	3.4	1.2	6.2	3.1	9.3	1.5	40.7	75.2	115.9	2.8
茨城県	2.0	0.6	2.5	1.3	4.7	2.2	6.9	1.5	25.5	62.9	88.4	3.5
栃木県	1.4	0.5	1.9	1.4	6.3	2.1	8.4	1.3	31.3	89.5	120.9	3.9
群馬県	2.8	0.8	3.5	1.3	6.6	1.8	8.4	1.3	54.5	72.8	127.4	2.3
埼玉県	2.3	0.6	2.9	1.3	4.9	1.6	6.5	1.3	33.8	59.6	93.4	2.8
千葉県	2.6	0.7	3.2	1.3	4.9	1.7	6.6	1.4	31.8	56.0	87.8	2.8
東京都	6.0	1.5	7.4	1.2	6.3	2.0	8.3	1.3	54.9	74.5	129.4	2.4
神奈川県	4.2	0.8	5.1	1.2	5.7	1.0	6.7	1.2	46.7	38.0	84.7	1.8
新潟県	1.6	0.5	2.1	1.3	5.5	0.6	6.1	1.1	37.1	44.2	81.2	2.2
富山県	1.2	0.5	1.7	1.4	6.3	3.0	9.2	1.5	42.9	46.1	89.0	2.1
石川県	1.4	0.7	2.1	1.5	6.0	2.4	8.5	1.4	43.6	34.1	77.7	1.8
福井県	1.8	0.4	2.2	1.2	7.5	3.2	10.7	1.4	41.0	89.8	130.8	3.2
山梨県	2.2	0.9	3.1	1.4	8.0	1.8	9.8	1.2	41.7	97.4	139.1	3.3
長野県	2.9	0.6	3.5	1.2	5.5	1.7	7.2	1.3	27.7	74.3	101.9	3.7
岐阜県	2.3	0.8	3.0	1.3	5.7	4.1	9.8	1.7	37.6	135.4	173.0	4.6
静岡県	2.4	0.7	3.1	1.3	6.2	1.3	7.5	1.2	39.4	47.0	86.5	2.2
愛知県	2.7	0.7	3.4	1.3	5.0	1.9	6.9	1.4	35.4	99.9	135.3	3.8
三重県	2.7	0.5	3.2	1.2	8.1	1.8	9.9	1.2	42.3	57.0	99.3	2.3
滋賀県	1.9	0.6	2.5	1.3	5.2	3.0	8.2	1.6	45.8	70.9	116.8	2.5
京都府	4.4	1.0	5.4	1.2	7.2	2.9	10.1	1.4	48.9	64.8	113.8	2.3
大阪府	3.9	0.8	4.7	1.2	7.0	2.9	9.9	1.4	41.3	57.1	98.4	2.4
兵庫県	3.6	0.7	4.3	1.2	7.3	2.2	9.5	1.3	52.1	43.3	95.4	1.8
奈良県	2.4	0.9	3.3	1.4	6.2	2.4	8.6	1.4	35.4	72.1	107.5	3.0
和歌山県	3.4	0.7	4.2	1.2	7.7	2.9	10.6	1.4	52.6	97.3	149.9	2.9
鳥取県	2.3	0.9	3.2	1.4	7.9	3.2	11.1	1.4	59.1	83.9	143.0	2.4
島根県	3.7	0.6	4.3	1.2	6.6	1.6	8.2	1.2	45.2	81.1	126.3	2.8
岡山県	3.9	0.9	4.8	1.2	5.9	2.7	8.6	1.5	45.7	89.4	135.2	3.0
広島県	2.9	1.0	3.9	1.4	7.2	3.1	10.3	1.4	45.2	43.4	88.6	2.0
山口県	3.3	0.4	3.6	1.1	7.4	3.0	10.4	1.4	54.1	43.9	98.0	1.8
徳島県	2.6	2.0	4.6	1.8	6.5	5.4	12.0	1.8	52.2	139.7	191.9	3.7
香川県	2.8	0.8	3.6	1.3	8.3	3.3	11.6	1.4	46.9	40.5	87.4	1.9
愛媛県	2.4	1.3	3.8	1.5	7.8	2.7	10.4	1.3	47.4	31.4	78.9	1.7
高知県	2.0	0.7	2.7	1.4	6.9	1.6	8.5	1.2	35.5	47.7	83.1	2.3
福岡県	3.8	0.6	4.4	1.2	8.3	2.2	10.5	1.3	47.8	38.8	86.6	1.8
佐賀県	2.1	0.5	2.6	1.2	8.2	2.4	10.6	1.3	35.9	78.7	114.6	3.2
長崎県	2.7	0.9	3.6	1.3	8.5	4.5	13.0	1.5	48.3	41.4	89.7	1.9
熊本県	1.9	0.6	2.5	1.3	7.2	2.3	9.6	1.3	41.2	62.4	103.6	2.5
大分県	2.8	0.9	3.7	1.3	5.6	2.5	8.1	1.5	47.9	48.6	96.5	2.0
宮崎県	2.4	1.1	3.5	1.5	8.1	2.1	10.3	1.3	40.2	32.2	72.4	1.8
鹿児島県	1.6	0.7	2.4	1.5	7.4	2.3	9.7	1.3	33.2	48.5	81.7	2.5
沖縄県	2.9	1.9	4.8	1.6	5.1	2.6	7.7	1.5	30.5	34.8	65.3	2.1
東京都区部	7.1	1.8	8.8	1.2	6.7	2.3	9.0	1.3	—	—	—	—

*厚生労働省「平成30年 医師・歯科医師・薬剤師統計」から作成

2018年

	眼科				耳鼻咽喉科				産科・産婦人科			
	主たる 診療科 ①	従たる 診療科 ②	計 ③	③÷① (倍)	主たる 診療科 ①	従たる 診療科 ②	計 ③	③÷① (倍)	主たる 診療科 ①	従たる 診療科 ②	計 ③	③÷① (倍)
全国	6.7	0.1	6.8	1.0	4.2	0.1	4.4	1.0	3.3	0.2	3.5	1.1
北海道	5.0	0.0	5.0	1.0	3.5	0.1	3.5	1.0	2.0	0.2	2.2	1.1
青森県	4.8	0.1	4.8	1.0	3.8	0.2	4.0	1.0	2.7	0.2	2.9	1.1
岩手県	4.8	0.0	4.8	1.0	3.1	0.1	3.1	1.0	3.0	0.2	3.2	1.1
宮城県	5.5	0.2	5.7	1.0	3.4	0.0	3.5	1.0	3.6	0.2	3.8	1.0
秋田県	5.5	0.3	5.8	1.1	3.2	0.1	3.3	1.0	2.8	0.1	2.9	1.0
山形県	6.1	0.1	6.1	1.0	3.9	0.0	3.9	1.0	2.5	0.2	2.7	1.1
福島県	5.2	0.2	5.4	1.0	3.1	0.2	3.2	1.1	2.5	0.3	2.7	1.1
茨城県	5.2	0.1	5.4	1.0	2.9	0.4	3.3	1.1	2.1	0.2	2.3	1.1
栃木県	4.9	0.1	4.9	1.0	3.8	0.0	3.8	1.0	3.8	0.3	4.1	1.1
群馬県	6.4	0.3	6.7	1.0	3.8	0.2	4.0	1.1	3.3	0.3	3.6	1.1
埼玉県	5.9	0.1	6.0	1.0	3.4	0.1	3.6	1.0	2.6	0.2	2.7	1.1
千葉県	5.2	0.1	5.3	1.0	3.0	0.1	3.1	1.0	3.0	0.1	3.1	1.0
東京都	8.7	0.2	9.0	1.0	5.4	0.2	5.7	1.0	4.1	0.5	4.6	1.1
神奈川県	6.3	0.0	6.3	1.0	3.7	0.1	3.8	1.0	3.1	0.1	3.2	1.0
新潟県	5.5	0.0	5.5	1.0	3.7	0.0	3.7	1.0	1.9	0.0	2.0	1.0
富山県	6.2	0.0	6.2	1.0	3.8	0.1	3.9	1.0	3.0	0.0	3.0	1.0
石川県	5.8	0.0	5.8	1.0	4.0	0.0	4.0	1.0	3.1	0.2	3.2	1.1
福井県	5.3	0.3	5.6	1.0	4.9	0.0	4.9	1.0	2.6	0.0	2.6	1.0
山梨県	6.6	0.0	6.6	1.0	3.6	0.0	3.6	1.0	2.8	0.4	3.2	1.1
長野県	5.8	0.1	5.9	1.0	3.5	0.0	3.5	1.0	2.6	0.0	2.6	1.0
岐阜県	7.4	0.2	7.6	1.0	4.6	0.3	4.9	1.1	3.9	0.3	4.2	1.1
静岡県	6.5	0.0	6.5	1.0	3.9	0.1	4.0	1.0	3.5	0.2	3.7	1.1
愛知県	7.0	0.1	7.2	1.0	4.4	0.1	4.6	1.0	3.8	0.1	3.9	1.0
三重県	6.9	0.1	6.9	1.0	4.6	0.1	4.7	1.0	3.6	0.1	3.7	1.0
滋賀県	5.5	0.0	5.5	1.0	4.0	0.1	4.2	1.0	2.8	0.4	3.3	1.2
京都府	7.5	0.2	7.7	1.0	5.7	0.1	5.8	1.0	2.8	0.2	3.0	1.1
大阪府	8.1	0.1	8.2	1.0	5.3	0.1	5.4	1.0	3.8	0.1	4.0	1.0
兵庫県	7.8	0.1	7.8	1.0	4.9	0.1	5.0	1.0	3.6	0.2	3.8	1.1
奈良県	7.2	0.1	7.3	1.0	4.7	0.2	4.9	1.0	2.4	0.4	2.8	1.2
和歌山県	7.2	0.1	7.3	1.0	5.1	0.0	5.1	1.0	4.8	0.3	5.1	1.1
鳥取県	5.9	0.0	5.9	1.0	3.2	0.2	3.4	1.1	4.1	0.0	4.1	1.0
島根県	6.8	0.1	6.9	1.0	4.0	0.1	4.1	1.0	2.4	0.3	2.6	1.1
岡山県	6.2	0.2	6.3	1.0	4.9	0.1	5.0	1.0	3.5	0.2	3.7	1.0
広島県	7.9	0.0	7.9	1.0	4.5	0.1	4.6	1.0	3.9	0.1	3.9	1.0
山口県	6.1	0.1	6.2	1.0	4.6	0.1	4.7	1.0	2.6	0.0	2.6	1.0
徳島県	7.9	0.3	8.2	1.0	5.4	0.4	5.8	1.1	3.8	0.1	3.9	1.0
香川県	6.8	0.0	6.8	1.0	5.8	0.2	6.0	1.0	3.2	0.0	3.2	1.0
愛媛県	6.7	0.1	6.8	1.0	4.8	0.1	5.0	1.0	4.0	0.1	4.1	1.0
高知県	5.7	0.1	5.8	1.0	4.1	0.1	4.2	1.0	2.4	0.1	2.5	1.1
福岡県	7.1	0.2	7.3	1.0	4.1	0.1	4.2	1.0	3.6	0.2	3.7	1.0
佐賀県	6.2	0.1	6.3	1.0	4.3	0.2	4.5	1.1	3.9	0.2	4.2	1.1
長崎県	6.9	0.2	7.2	1.0	5.4	0.1	5.6	1.0	4.8	0.2	5.0	1.0
熊本県	7.3	0.0	7.3	1.0	4.4	0.1	4.6	1.0	3.4	0.2	3.6	1.1
大分県	6.2	0.2	6.4	1.0	3.8	0.1	3.9	1.0	3.7	0.0	3.7	1.0
宮崎県	6.8	0.2	7.0	1.0	3.9	0.0	3.9	1.0	3.7	0.1	3.8	1.0
鹿児島県	6.2	0.1	6.3	1.0	4.2	0.1	4.3	1.0	3.6	0.1	3.7	1.0
沖縄県	6.1	0.1	6.2	1.0	3.0	0.1	3.1	1.0	3.5	0.1	3.6	1.0
東京都区部	9.8	0.3	10.1	1.0	6.2	0.3	6.4	1.0	4.7	0.6	5.4	1.1

*厚生労働省「平成30年 医師・歯科医師・薬剤師統計」から作成

5.2.5. 診療科別・開設者勤務者別医師数

勤務医は主たる業務が診療所勤務医と回答した者であり、病院から診療所に非常勤で派遣される勤務医は含まない。

	2008(H20)年				2018(H30)年			
	開設者 ①	勤務者	計 ②	②/① (倍)	開設者 ①	勤務者	計 ②	②/① (倍)
総数	71,913	25,718	97,631	1.36	71,709	32,127	103,836	1.45
内科	28,564	10,668	39,232	1.37	26,999	11,884	38,883	1.44
呼吸器内科	258	186	444	1.72	390	267	657	1.68
循環器内科	1,205	496	1,701	1.41	1,498	614	2,112	1.41
消化器内科(胃腸内科)	2,315	825	3,140	1.36	2,395	1,154	3,549	1.48
腎臓内科	128	189	317	2.48	293	699	992	3.39
神経内科	208	137	345	1.66	309	222	531	1.72
糖尿病内科(代謝内科)	247	178	425	1.72	535	408	943	1.76
血液内科	7	20	27	3.86	8	12	20	2.50
皮膚科	3,632	1,224	4,856	1.34	3,845	1,712	5,557	1.45
アレルギー科	51	21	72	1.41	54	17	71	1.31
リウマチ科	84	78	162	1.93	118	69	187	1.58
感染症内科	55	17	72	1.31	11	-	11	1.00
小児科	4,872	1,643	6,515	1.34	4,641	2,066	6,707	1.45
精神科	2,009	950	2,959	1.47	2,618	1,421	4,039	1.54
心療内科	424	135	559	1.32	479	161	640	1.34
外科	3,327	804	4,131	1.24	2,210	652	2,862	1.30
呼吸器外科	7	11	18	2.57	6	11	17	2.83
心臓血管外科	39	27	66	1.69	80	31	111	1.39
乳腺外科	84	72	156	1.86	190	178	368	1.94
気管食道外科	9	4	13	1.44	-	-	0	-
消化器外科(胃腸外科)	235	90	325	1.38	145	83	228	1.57
泌尿器科	1,298	363	1,661	1.28	1,476	515	1,991	1.35
肛門外科	224	52	276	1.23	190	67	257	1.35
脳神経外科	766	190	956	1.25	936	231	1,167	1.25
整形外科	6,031	1,266	7,297	1.21	6,305	1,598	7,903	1.25
形成外科	256	108	364	1.42	375	194	569	1.52
美容外科	280	104	384	1.37	322	342	664	2.06
眼科	5,804	2,101	7,905	1.36	6,029	2,413	8,442	1.40
耳鼻咽喉科	4,498	896	5,394	1.20	4,367	984	5,351	1.23
小児外科	12	14	26	2.17	16	12	28	1.75
産婦人科	3,073	1,246	4,319	1.41	2,492	1,580	4,072	1.63
産科	64	42	106	1.66	61	48	109	1.79
婦人科	612	355	967	1.58	527	570	1,097	2.08
リハビリテーション科	52	84	136	2.62	58	95	153	2.64
放射線科	85	237	322	3.79	83	373	456	5.49
麻酔科	341	173	514	1.51	332	206	538	1.62
病理診断科	8	14	22	2.75	16	34	50	3.13
臨床検査科	2	4	6	3.00	3	5	8	2.67
救急科	3	2	5	1.67	12	17	29	2.42
臨床研修医	-	14	14	-	-	13	13	-
全科	18	80	98	5.44	21	67	88	4.19
その他	170	403	573	3.37	282	763	1,045	3.71

*厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計(調査)」から作成。「総数」には「主たる診療科不詳」を含む。

5.3. 診療所診療行為別点数

5.3.1. 診療科別入院外診療行為別診療報酬点数構成比

入院外 診療行為別診療報酬点数構成比

(%)

診療科	診療行為 (大分類)	2010 H22	2011 H23	2012 H24	2013 H25	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	
総数	初・再診	21.5	21.6	21.8	20.6	21.0	20.8	20.7	20.6	20.4	20.0	17.5	
	医学管理等	13.6	12.7	13.4	12.5	12.4	12.1	12.2	12.0	12.0	11.9	12.0	
	在宅医療	4.2	6.6	5.5	6.4	6.2	6.5	6.6	6.6	6.9	7.2	9.2	
	検査	14.8	15.1	15.3	16.2	16.4	16.6	17.1	17.2	17.4	17.6	16.7	
	画像診断	3.1	3.3	2.9	3.5	3.7	3.8	3.9	4.0	4.0	4.0	3.8	
	投薬	21.6	21.2	21.5	19.9	19.0	18.7	17.7	17.5	16.5	16.0	16.3	
	精神科療法	2.5	2.2	1.5	1.6	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.8	1.8	2.0
	処置	10.8	9.6	10.5	10.7	10.7	10.7	10.7	10.9	10.8	11.2	12.1	
	手術	2.5	2.5	2.7	2.7	2.7	2.8	3.0	3.0	3.3	3.4	3.2	
	その他	5.6	5.3	5.0	6.0	6.3	6.3	6.3	6.3	6.6	6.7	6.9	7.3
	計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
内科	初・再診	19.0	19.3	19.2	17.9	18.2	18.0	17.9	17.8	17.9	17.8	15.0	
	医学管理等	18.8	17.9	19.0	17.6	17.6	17.3	17.8	17.5	17.5	17.4	17.7	
	在宅医療	6.8	11.7	9.4	11.2	10.8	11.4	11.9	11.9	12.5	13.3	16.4	
	検査	13.7	13.9	14.6	16.1	16.5	16.6	17.3	17.4	17.6	18.2	17.2	
	画像診断	2.2	1.9	1.7	2.3	2.4	2.5	2.6	2.7	2.8	2.5	2.4	
	投薬	27.1	26.5	27.0	25.3	24.1	23.5	22.7	22.4	20.8	20.4	20.4	
	精神科療法	2.7	2.1	0.7	0.9	1.0	1.0	0.9	1.0	1.0	1.0	1.0	
	処置	4.7	2.4	4.6	4.1	4.5	4.8	4.1	4.5	4.8	4.2	4.9	
	手術	0.5	0.8	0.5	0.7	0.8	0.8	0.9	0.9	1.0	1.0	0.9	
	その他	4.5	3.6	3.2	3.9	4.1	4.1	4.0	4.1	4.1	4.1	4.1	
	計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(%)

診療科	診療行為 (大分類)	2010 H22	2011 H23	2012 H24	2013 H25	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2
精神科	初・再診	13.8	14.3	14.1	13.9	14.4	14.5	14.3	14.2	14.3	14.3	14.4
	医学管理等	2.8	2.8	2.7	2.6	2.5	2.5	2.5	2.4	2.5	2.6	2.8
	在宅医療	4.6	1.5	2.0	2.1	1.9	2.0	2.4	2.5	2.3	2.8	3.4
	検査	3.7	3.8	4.0	4.1	4.2	4.1	4.1	4.2	4.4	4.4	4.3
	画像診断	0.6	0.2	0.5	0.3	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2
	投薬	19.7	20.5	19.6	18.1	17.3	17.0	16.1	15.9	15.4	14.8	15.1
	精神科療法	53.2	55.5	55.7	56.9	57.5	57.6	57.8	57.7	57.9	57.9	56.6
	処置	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1
	手術	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	1.4	1.3	1.3	1.8	1.8	1.7	2.4	2.5	2.8	2.7	3.1
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
小児科	初・再診	32.0	32.9	31.7	30.9	31.5	31.2	30.9	30.3	30.0	29.3	18.8
	医学管理等	39.1	36.6	37.1	38.1	38.1	37.3	38.0	38.0	39.4	40.3	45.2
	在宅医療	3.7	4.4	4.3	4.5	4.3	4.8	4.9	4.8	4.8	5.4	11.5
	検査	7.9	9.2	7.8	9.4	9.2	9.7	9.9	10.8	10.1	10.2	8.9
	画像診断	0.4	0.3	0.3	0.4	0.4	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
	投薬	15.3	14.8	16.5	14.2	13.7	13.5	13.2	12.9	12.3	11.4	11.1
	精神科療法	0.1	0.2	0.4	0.3	0.4	0.5	0.4	0.5	0.5	0.6	1.0
	処置	0.4	0.5	0.6	0.5	0.5	0.5	0.6	0.6	0.6	0.5	0.5
	手術	0.3	0.1	0.0	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1
	その他	0.9	1.1	1.4	1.5	1.7	1.8	1.6	1.7	1.8	1.7	2.4
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(%)

診療科	診療行為 (大分類)	2010 H22	2011 H23	2012 H24	2013 H25	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	
外科	初・再診	20.0	18.5	19.8	19.0	19.4	19.2	18.9	18.7	18.6	17.9	16.9	
	医学管理等	14.4	13.4	13.9	13.7	13.8	13.6	13.7	13.5	13.5	12.7	13.4	
	在宅医療	4.2	3.8	3.8	5.0	4.9	4.8	5.1	5.0	5.2	5.4	6.6	
	検査	11.0	14.9	11.7	13.2	13.4	13.5	14.2	14.2	14.5	14.5	14.0	
	画像診断	10.8	12.4	10.6	12.3	12.1	12.4	13.5	13.7	14.0	14.7	13.9	
	投薬	22.9	21.6	23.3	21.6	20.5	20.3	18.2	17.8	16.9	15.9	16.3	
	精神科療法	0.0	0.2	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2
	処置	6.6	3.9	6.9	3.7	4.0	4.0	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.6
	手術	2.4	3.0	3.3	3.8	4.0	4.3	5.1	5.6	6.0	7.2	6.4	
	その他	7.6	8.3	6.7	7.6	7.8	7.8	7.7	7.9	7.8	8.3	8.6	
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
整形外科	初・再診	27.8	27.2	28.2	26.5	27.0	26.7	26.6	26.2	26.0	25.4	24.0	
	医学管理等	5.4	5.2	5.0	4.4	4.3	4.2	4.2	4.0	3.9	3.9	3.9	
	在宅医療	1.5	2.6	1.2	2.3	2.3	2.5	2.5	2.5	2.5	2.6	3.0	
	検査	5.0	5.6	3.9	4.9	5.0	5.2	5.6	5.7	5.9	6.3	6.9	
	画像診断	11.2	12.7	13.0	12.9	13.0	13.2	13.7	13.9	14.1	14.3	13.4	
	投薬	17.4	17.5	16.9	15.3	14.6	14.3	13.3	13.2	12.7	12.4	12.8	
	精神科療法	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	処置	9.1	7.9	8.4	7.5	7.2	7.0	7.1	6.8	6.7	6.3	5.6	
	手術	2.0	2.2	1.9	1.6	1.5	1.4	1.4	1.4	1.3	1.3	1.4	
	その他	20.5	19.2	21.5	24.5	25.1	25.3	25.5	26.3	26.7	27.4	28.8	
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	

(%)

診療科	診療行為 (大分類)	2010 H22	2011 H23	2012 H24	2013 H25	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2
皮膚科	初・再診	42.5	43.9	44.6	44.7	45.6	45.6	46.0	45.4	44.8	44.9	44.6
	医学管理等	4.3	4.1	4.3	4.4	4.4	4.3	4.4	4.5	4.7	4.8	4.8
	在宅医療	0.6	0.4	0.4	0.7	0.6	0.5	0.6	0.6	0.7	0.6	0.8
	検査	7.4	7.5	8.0	7.4	7.5	7.8	7.6	7.6	7.8	7.7	7.3
	画像診断	0.1	0.2	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
	投薬	26.2	26.4	23.8	24.5	23.2	23.2	22.7	22.6	21.8	22.0	22.0
	精神科療法	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0
	処置	14.2	13.5	13.6	14.0	14.0	13.7	14.0	14.2	14.7	14.6	15.0
	手術	2.7	2.5	3.5	2.7	2.8	2.8	2.8	3.1	3.2	2.7	2.9
	その他	2.0	1.4	1.8	1.5	1.7	1.8	1.6	1.8	2.0	2.5	2.4
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
泌尿器科	初・再診	12.0	14.1	13.8	13.8	14.2	14.3	14.2	14.0	14.2	14.2	13.7
	医学管理等	7.6	7.8	7.4	7.6	7.6	7.6	7.7	7.6	7.8	7.7	8.0
	在宅医療	2.9	3.6	3.0	4.0	3.7	3.7	3.9	3.8	3.8	4.2	4.8
	検査	13.2	16.5	16.2	16.8	17.5	17.8	18.2	18.2	18.7	19.1	18.6
	画像診断	1.2	1.3	1.2	1.4	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.4	1.3
	投薬	16.0	18.7	18.4	17.6	17.2	17.5	15.9	15.8	15.3	15.2	14.8
	精神科療法	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	処置	38.1	27.6	29.9	27.8	27.9	27.4	29.0	29.3	29.2	28.7	29.5
	手術	0.6	0.7	0.6	1.0	1.0	0.9	0.9	1.0	1.2	1.3	1.2
	その他	8.4	9.8	9.5	10.2	9.7	9.6	8.8	8.9	8.4	8.2	8.2
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(%)

診療科	診療行為 (大分類)	2010 H22	2011 H23	2012 H24	2013 H25	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2
産婦人科	初・再診	23.0	22.7	23.3	22.1	22.6	22.5	22.4	22.1	22.5	21.8	20.6
	医学管理等	5.8	6.1	4.7	4.5	4.3	4.1	4.1	4.0	4.0	4.0	4.0
	在宅医療	0.9	1.0	0.7	1.1	1.2	1.2	1.4	1.4	1.1	0.9	1.0
	検査	37.7	36.3	39.4	40.7	40.8	40.7	40.9	40.7	40.3	40.4	38.8
	画像診断	1.0	0.5	0.6	0.9	0.9	0.9	1.1	1.0	1.1	0.9	0.9
	投薬	17.9	18.3	18.4	17.6	17.2	17.7	17.1	17.8	17.5	18.4	21.1
	精神科療法	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	処置	2.3	5.6	2.5	2.4	2.3	2.5	2.5	2.5	2.5	2.4	2.7
	手術	1.7	1.1	1.4	2.0	2.3	2.1	2.1	2.2	2.5	2.7	2.9
	その他	9.6	8.4	8.8	8.6	8.3	8.3	8.2	8.2	8.3	8.3	8.0
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
眼科	初・再診	21.4	21.0	21.6	19.9	20.1	20.0	19.4	19.3	18.7	17.7	15.9
	医学管理等	1.3	1.3	1.2	1.0	1.0	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.8
	在宅医療	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2
	検査	45.1	45.4	46.2	45.7	45.6	45.6	45.5	45.4	45.0	44.5	43.6
	画像診断	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	投薬	12.8	13.1	12.6	12.2	12.0	11.9	11.5	11.3	10.8	10.5	11.8
	精神科療法	0.0	0.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	処置	1.0	0.8	0.7	0.8	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.8
	手術	17.4	17.2	16.1	18.2	17.3	17.1	18.0	18.0	19.0	20.0	20.0
	その他	0.7	0.9	-	1.8	2.9	3.5	3.8	4.3	4.8	5.6	6.9
	計	100.0	100.0	98.6	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(%)

診療科	診療行為 (大分類)	2010 H22	2011 H23	2012 H24	2013 H25	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2
耳鼻 咽喉科	初・再診	38.0	38.1	34.6	37.1	38.1	37.8	37.7	37.6	37.0	36.6	34.3
	医学管理等	2.4	1.5	3.4	2.7	2.7	2.5	2.6	2.5	2.5	2.4	2.7
	在宅医療	0.7	0.8	0.8	1.3	1.5	1.7	2.0	2.1	2.2	2.5	4.7
	検査	19.4	18.7	17.7	20.6	20.7	21.7	22.0	22.3	23.0	23.9	26.4
	画像診断	1.9	1.4	2.0	2.0	2.0	2.0	2.1	2.2	2.2	2.3	2.1
	投薬	17.4	18.4	18.7	16.5	16.1	15.8	15.2	15.4	14.9	14.6	14.9
	精神科療法	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	処置	16.2	17.7	15.1	15.7	15.3	15.1	14.9	14.8	14.9	14.4	11.5
	手術	2.6	2.5	6.6	3.2	2.9	2.6	2.8	2.6	2.7	2.7	2.5
	その他	1.4	0.7	1.2	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.6	0.8
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
その他	初・再診	3.8	3.9	4.0	3.8	4.1	4.1	4.0	4.0	3.9	3.9	3.7
	医学管理等	7.0	6.9	6.8	6.7	6.6	6.7	6.8	6.6	6.7	6.6	6.9
	在宅医療	1.4	2.0	1.9	1.6	1.5	1.5	1.7	1.6	1.7	1.5	1.6
	検査	1.7	1.9	2.0	1.8	1.8	1.8	1.9	1.9	1.9	1.9	1.6
	画像診断	1.1	1.2	1.4	1.3	3.9	3.9	3.2	3.3	3.4	3.9	2.9
	投薬	4.6	4.9	5.0	4.3	4.2	4.1	3.9	3.7	3.4	2.9	2.8
	精神科療法	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	処置	76.2	74.3	73.8	75.7	73.0	72.8	73.6	74.1	73.6	73.8	75.0
	手術	0.6	0.6	1.1	1.1	1.1	1.1	1.3	1.3	1.3	1.3	1.1
	その他	3.6	4.3	4.1	3.7	3.8	3.8	3.6	3.6	4.0	4.2	4.3
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

*厚生労働省「社会医療診療行為別統計(調査)」から作成。総数には診療科その他の診療所を含む。

5.3.2. 診療科別入院診療行為別診療報酬点数

入院 診療行為別診療報酬点数構成比

(%)

診療科	診療行為 (大分類)	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
総数	入院料等	43.0	40.5	40.6	37.0	39.5	39.7	39.0	37.4	36.7	35.8	39.5
	手術	25.3	29.0	29.2	33.0	30.9	30.7	32.2	33.6	34.7	35.8	32.8
	その他	31.7	30.5	30.2	30.0	29.6	29.6	28.9	29.0	28.7	28.4	27.7
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
内科	入院料等	51.0	48.3	57.1	46.4	51.4	52.0	51.7	49.2	49.1	50.6	54.7
	手術	14.6	19.3	7.1	21.1	15.7	14.7	16.0	18.2	18.4	16.9	14.6
	その他	34.4	32.4	35.8	32.4	32.9	33.3	32.3	32.7	32.5	32.5	30.6
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
外科	入院料等	47.8	47.1	47.6	42.1	43.7	42.9	44.3	42.8	42.6	39.9	44.1
	手術	14.2	17.8	18.9	20.1	20.1	21.3	20.3	21.5	21.4	23.5	21.0
	その他	38.0	35.1	33.5	37.8	36.2	35.8	35.4	35.7	36.1	36.6	34.9
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
整形外科	入院料等	48.7	43.1	37.4	36.1	37.5	37.3	36.7	34.4	33.3	31.9	34.9
	手術	19.7	25.5	31.5	33.8	32.9	33.1	33.1	35.4	37.1	38.8	35.8
	その他	31.6	31.3	31.2	30.1	29.6	29.6	30.1	30.2	29.6	29.4	29.3
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(%)

診療科	診療行為 (大分類)	2010 H22	2011 H23	2012 H24	2013 H25	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2
産婦人科	入院料等	39.5	37.3	34.2	34.6	37.2	37.3	36.3	35.4	34.2	33.1	35.0
	手術	38.3	38.9	44.3	43.8	41.7	41.7	43.2	44.0	45.6	47.1	46.1
	その他	22.2	23.8	21.5	21.6	21.1	21.0	20.5	20.6	20.2	19.8	18.9
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
眼科	入院料等	9.9	9.5	9.3	9.4	9.7	9.8	9.3	9.4	9.4	9.5	9.7
	手術	81.0	82.3	8.2	81.8	80.7	80.6	82.1	82.0	81.4	81.9	81.6
	その他	9.1	8.3	82.5	8.8	9.7	9.6	8.6	8.6	9.1	8.6	8.6
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
耳鼻 咽喉科	入院料等	15.6	15.1	8.3	8.5	9.3	9.0	7.6	7.1	7.3	8.1	8.8
	手術	59.5	60.4	72.1	71.0	69.7	70.0	72.1	73.2	71.5	71.3	71.6
	その他	24.8	24.5	19.7	20.5	21.0	21.0	20.3	19.6	21.3	20.6	19.5
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

*厚生労働省「社会医療診療行為別統計(調査)」から作成。総数には診療科その他の診療所を含む。